

**胆江地区歯科保健データ集**

**— 令和3年度 —**

**一般社団法人  
奥州歯科医師会**

# 目 次

1 .	歯科保健目標との比較	- 1 -
2 .	1.6歳児、3歳児検診	
	① 1.6歳児 歯科検診結果	- 2 -
	② 3歳児 歯科検診結果	- 3 -
3 .	小学校 検診結果	
	① 水沢 小学校 検診結果	- 4 -
	② 江刺 小学校 検診結果	- 5 -
	③ 金ヶ崎町 小学校 検診結果	- 6 -
	④ 胆沢 小学校 検診結果	- 7 -
	⑤ 前沢 小学校 検診結果	- 8 -
	⑥ 衣川 小学校 検診結果	- 9 -
	⑦ 小学校別 未処置歯所有者率	- 10 -
	⑧ 小学校別 う歯有病者率	- 11 -
	⑨ 小学校別 DMFT	- 12 -
4 .	中学校 検診結果	
	① 中学校別 未処置歯所有者率	- 13 -
	② 中学校別 う歯有病者率	
	③ 中学校別 DMFT	
5 .	自治別 検診結果	
	① 自治別 小学校 検診結果	- 14 -
	② 自治別 中学校 検診結果	- 15 -
6 .	1.6歳児～中学3年までの年代別推移	
	① う蝕有病者率	
	・ 水沢、江刺、金ヶ崎町	- 16 -
	・ 胆沢、前沢、衣川	- 17 -
	② むし歯本数	
	・ 水沢、江刺、金ヶ崎町	- 18 -
	・ 胆沢、前沢、衣川	- 19 -

## 歯科保健目標との比較

### ■ イー歯トープ 8020 プラン(2014-2022)

#### 目標項目

- ・3歳児でむし歯がある者の割合の減少 現状値(H24) 26.5% 目標値(H34) 14%  
令和3年度 胆江地区: 1.6歳児 0.33%、3歳児 10.9%  
平成29年度 岩手県: 1.6歳児 1.5%、3歳児 18.7%
- ・12歳児で永久歯のむし歯がある者の割合の減少 現状値(H24) 38.77% 目標値(H34) 28%  
令和3年度胆江地区:30.72%、岩手県 35.0%、(全国:28.33%)  
12歳児における1人平均むし歯の本数  
令和3年 胆江地区:0.57歯、岩手県 0.83歯、(全国 0.63歯)

### ■ 健康日本 21

3歳児におけるう歯のない者の割合の増加

目標値:3歳児におけるう歯のない者の割合 80%以上

基準値:う歯のない者の割合 3歳児59.5%(平成10年3歳児歯科検診)

12歳児における1人平均う歯数(DMF 歯数)の減少

目標値:12歳児における1人平均う歯数(DMF 歯数) 1歯以下

基準値:1人平均う歯数 12歳児2.9歯(平成11年学校保健統計調査)

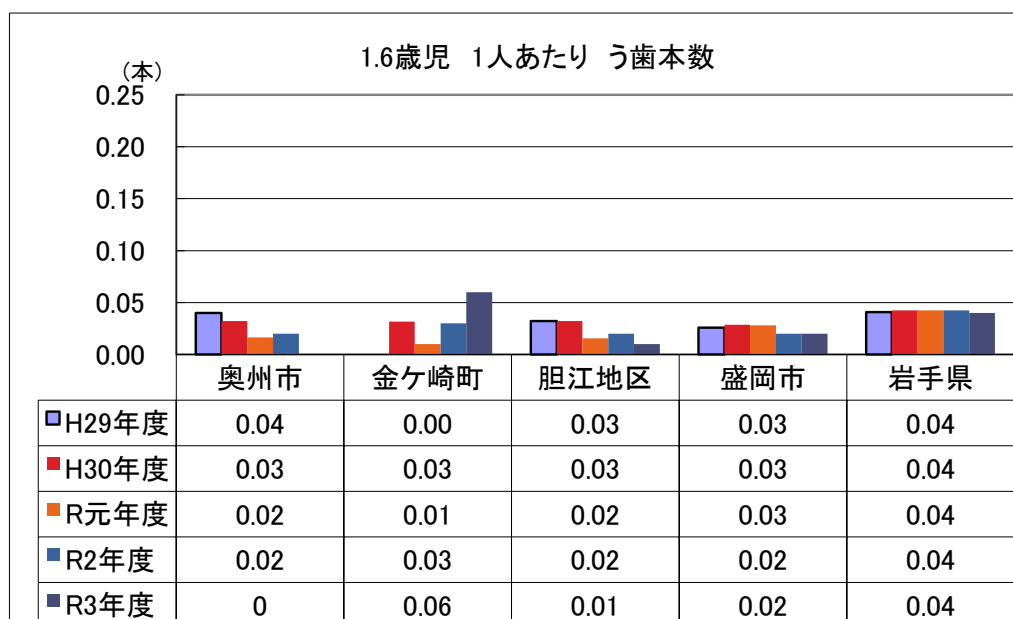
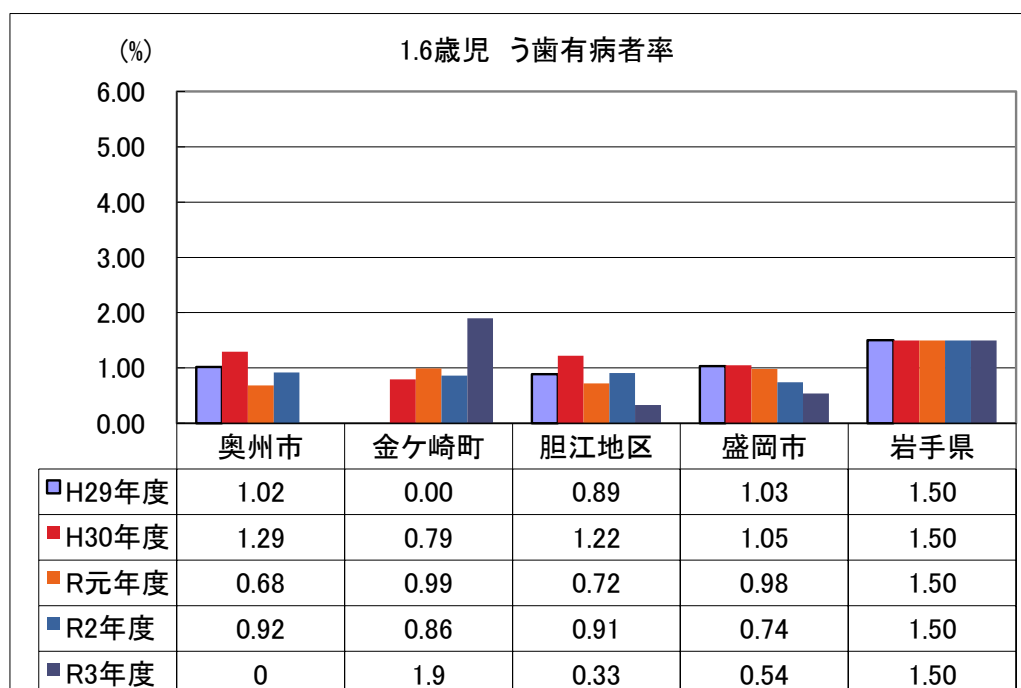
### ■ WHO 西暦 2025 年の目標

- ① 5歳児の90%以上がう蝕にならないこと
- ② 20歳の時点で90%の人がう蝕のコントロールされた状態、すなわち完全に治療がされた状態となること
- ③ 90%以上の人に破壊性のう蝕がないこと
- ④ 75%の人が歯科疾患の原因を知り、歯科疾患の予防とセルフケアが可能となり、自己点検ができる状態となること
- ⑤ 世界的なデータベースが作られ、個人、地域、国レベルでの歯科保健状態の評価がされ、医療経済の状態を評価するシステムが構築される

## 1.6歳児 歯科検診結果 (令和3年度)

\*岩手県は29年度データとなります

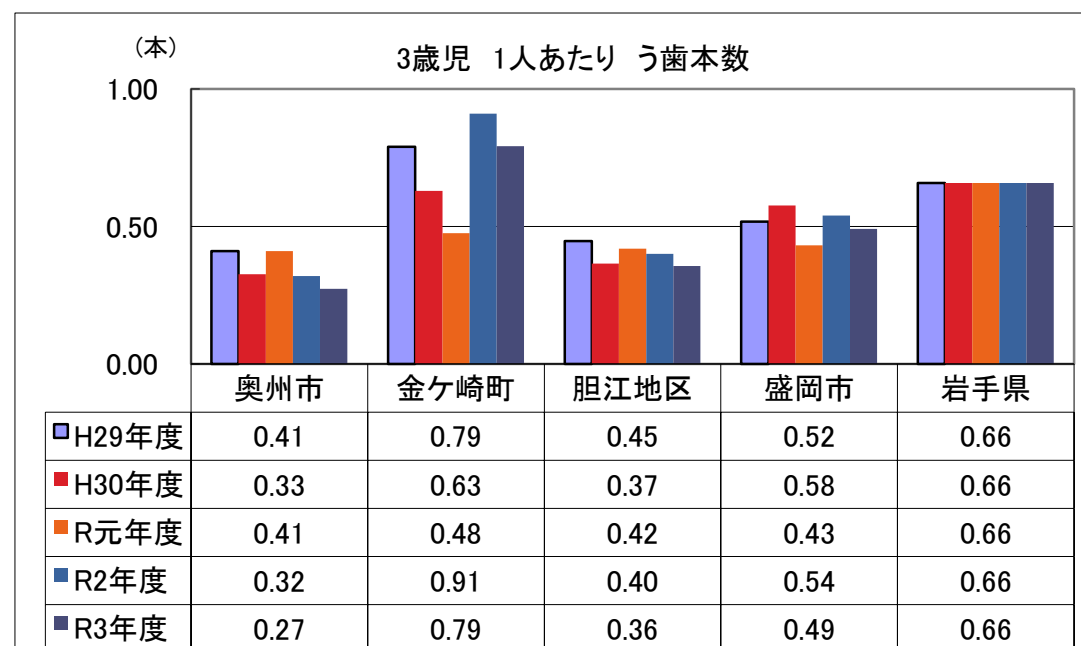
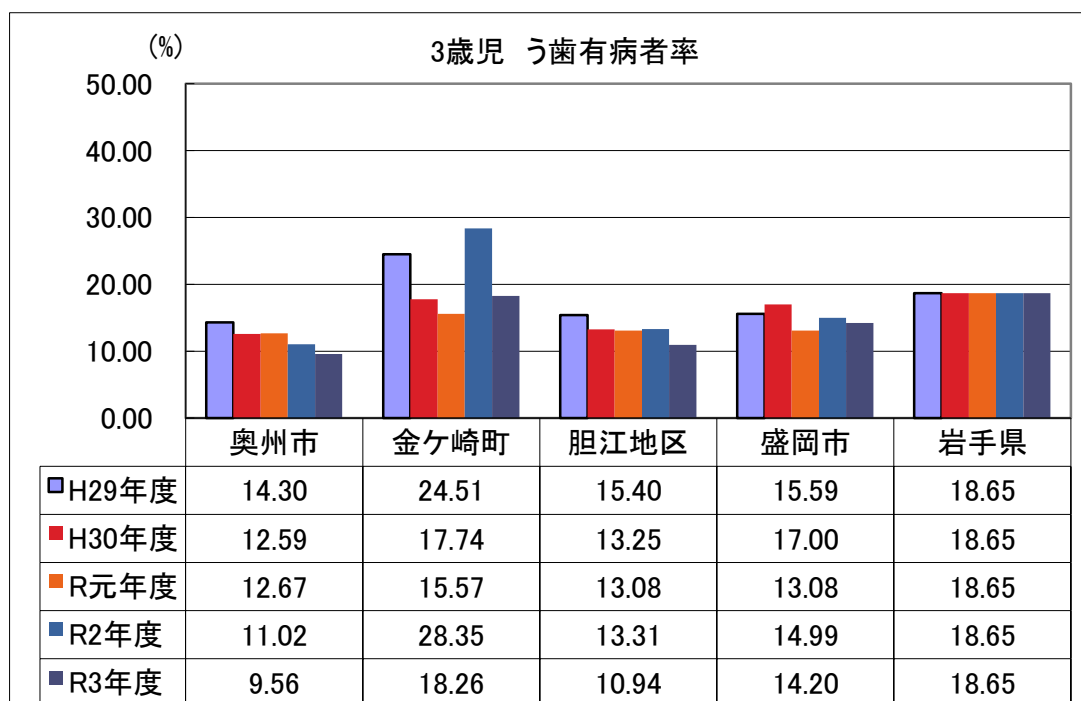
R3年度	健診受診者	むし菌のある者	う歯有病者率	むし菌総数	1人あたり本数
奥州市	503	0	0.00	0	0.00
金ヶ崎町	105	2	1.90	6	0.06
胆江地区	608	2	0.33	6	0.01
盛岡市	1,853	10	0.54	29	0.02
岩手県	8,404	126	1.50	357	0.04



## 3歳児 歯科検診結果 (令和3年度)

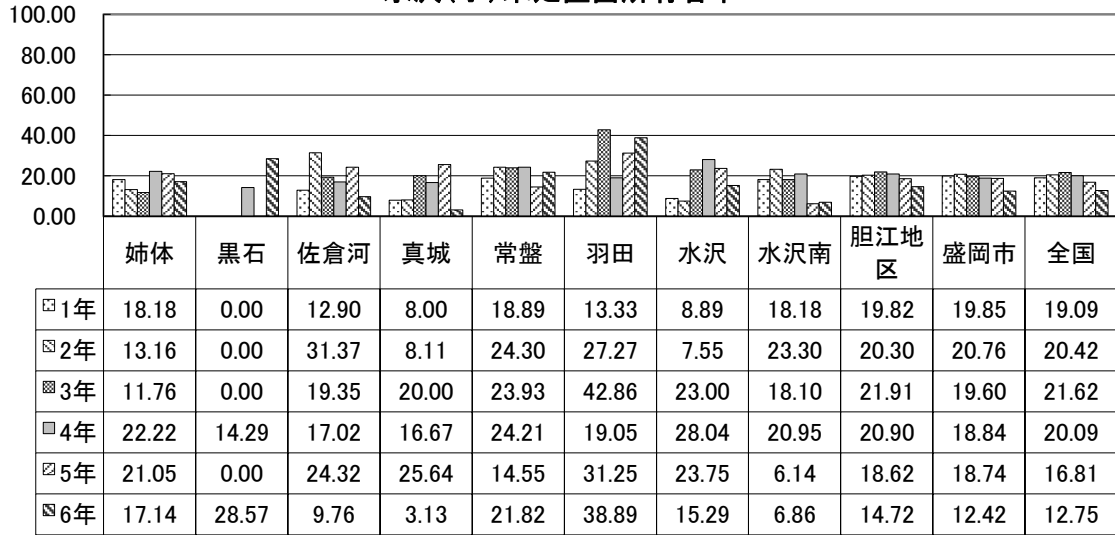
\*岩手県は29年度データとなります

R3年度	健診受診者	むし歯のある者	う歯有病者率	むし歯総数	1人あたり本数
奥州市	607	58	9.56	166	0.27
金ヶ崎町	115	21	18.26	91	0.79
胆江地区	722	79	10.94	257	0.36
盛岡市	2,028	288	14.20	995	0.49
岩手県29	8,793	1,640	18.65	5,787	0.66

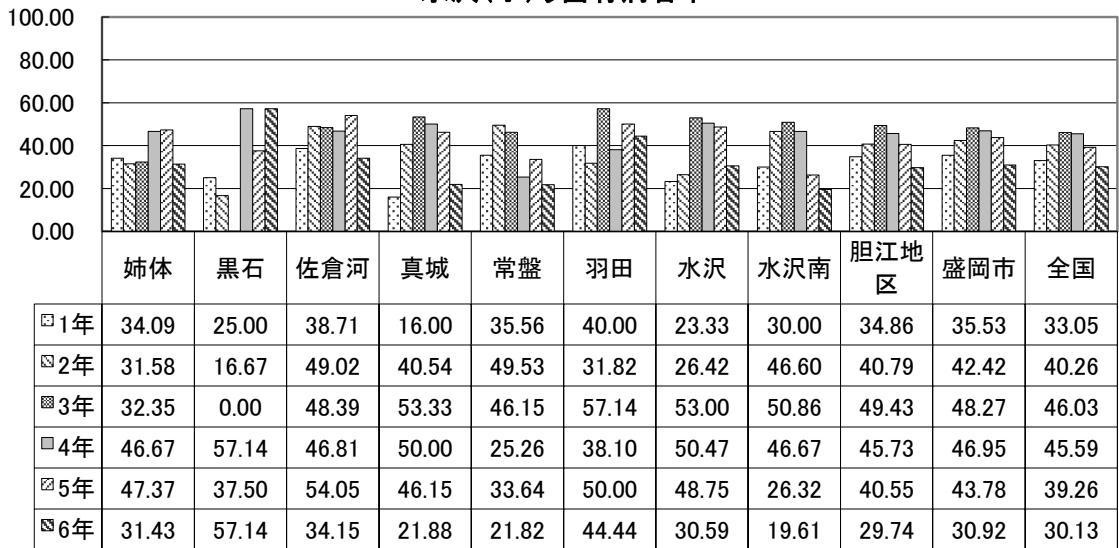


学校別(小)

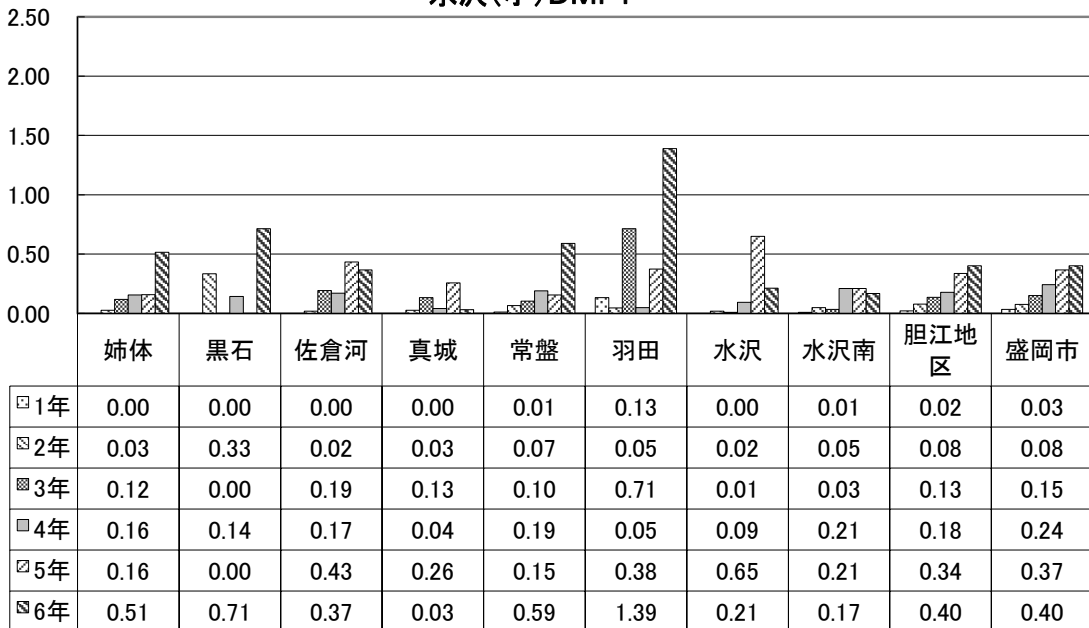
水沢(小)未処置歯所有者率



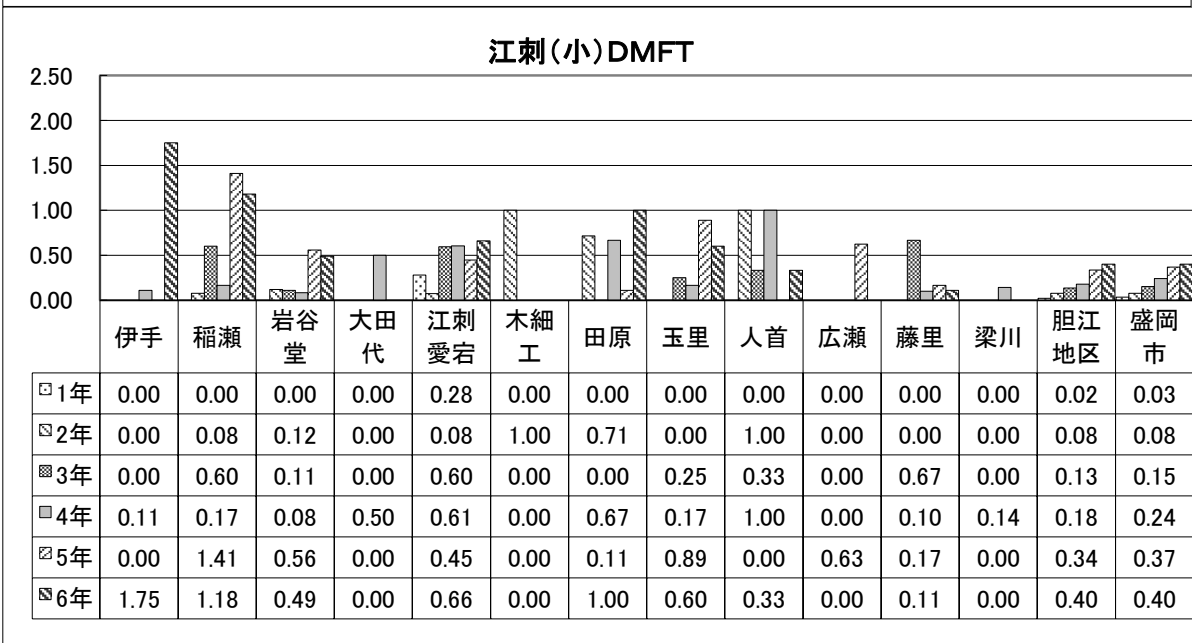
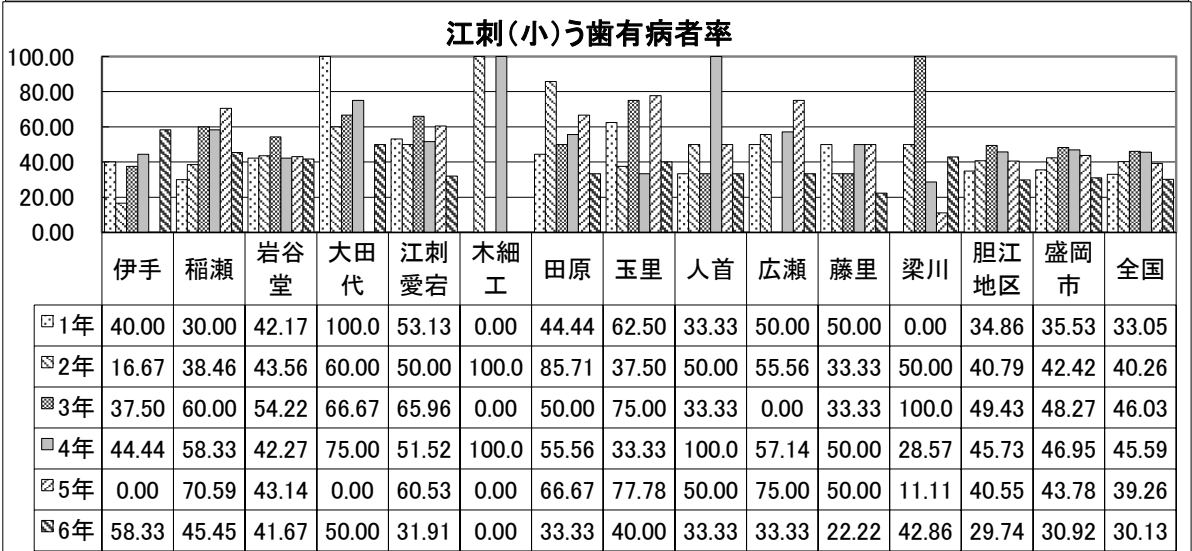
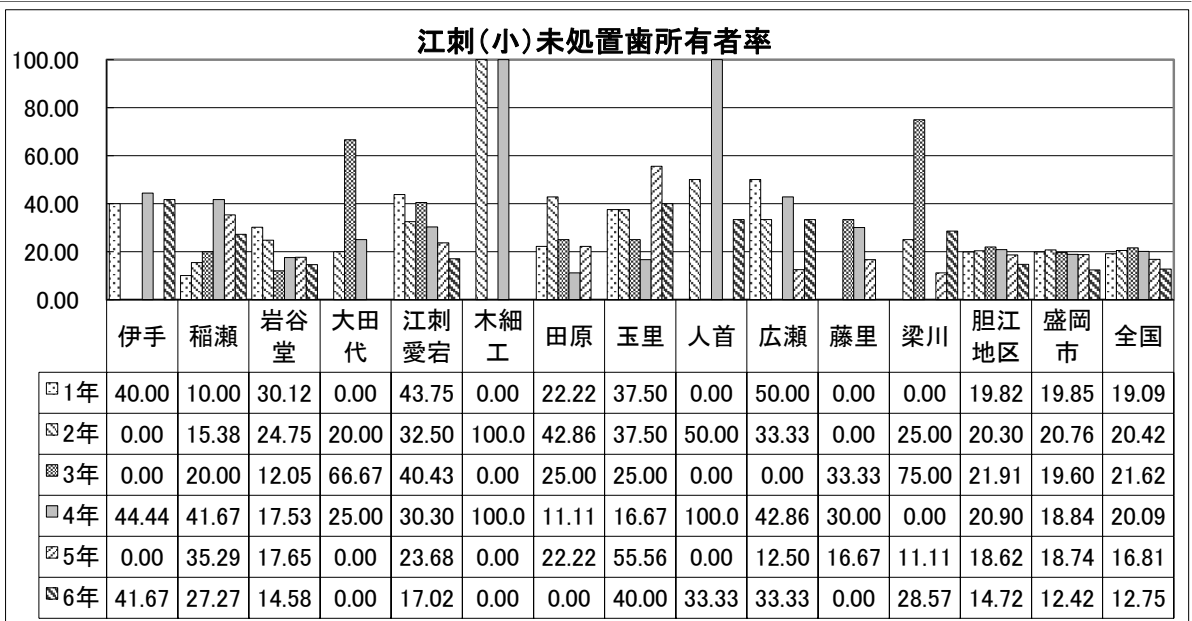
水沢(小)う歯有病者率



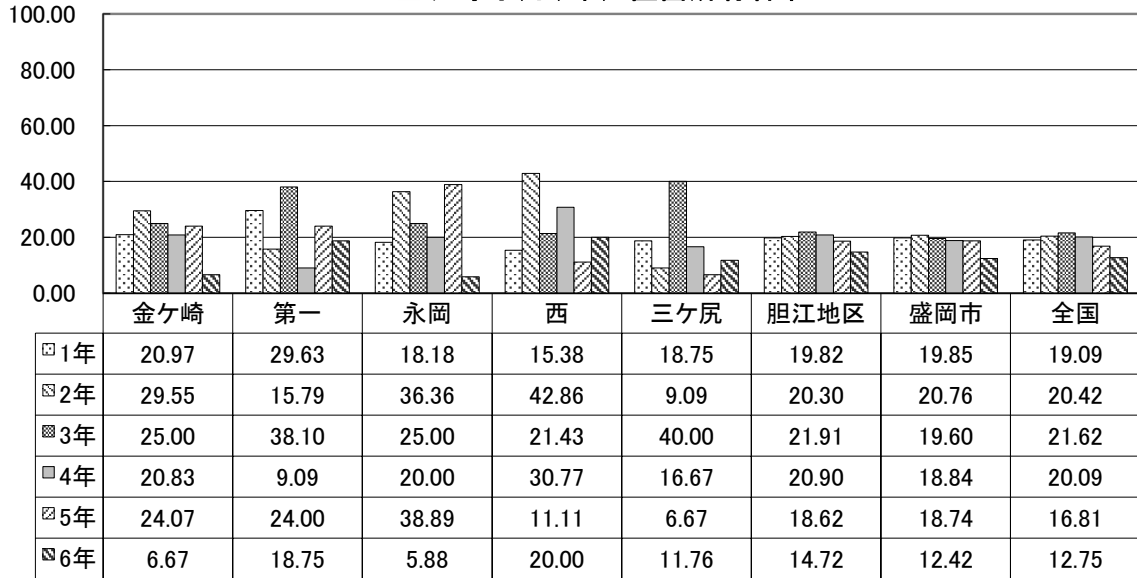
水沢(小)DMFT



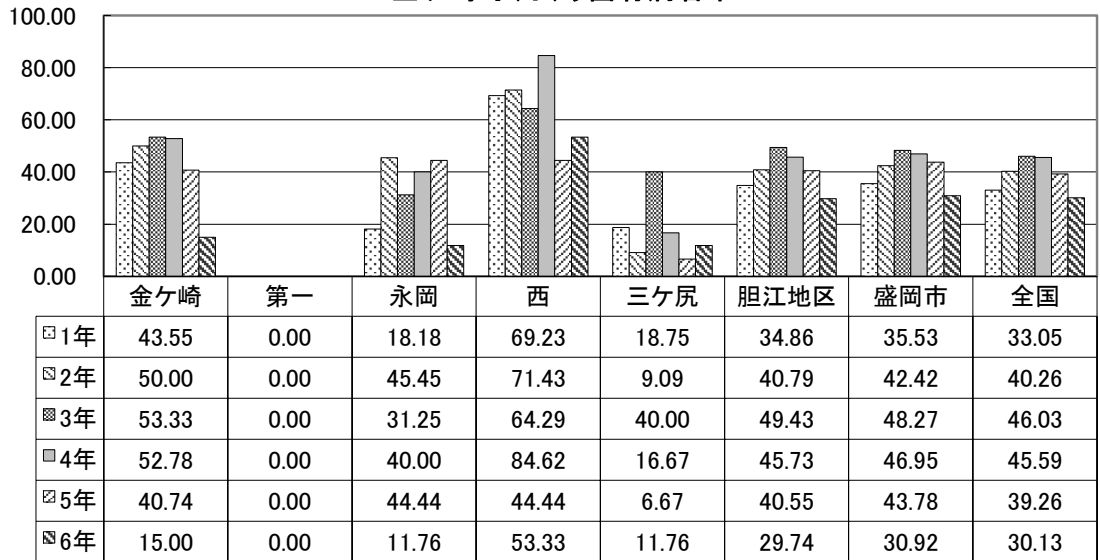
学校別(小)



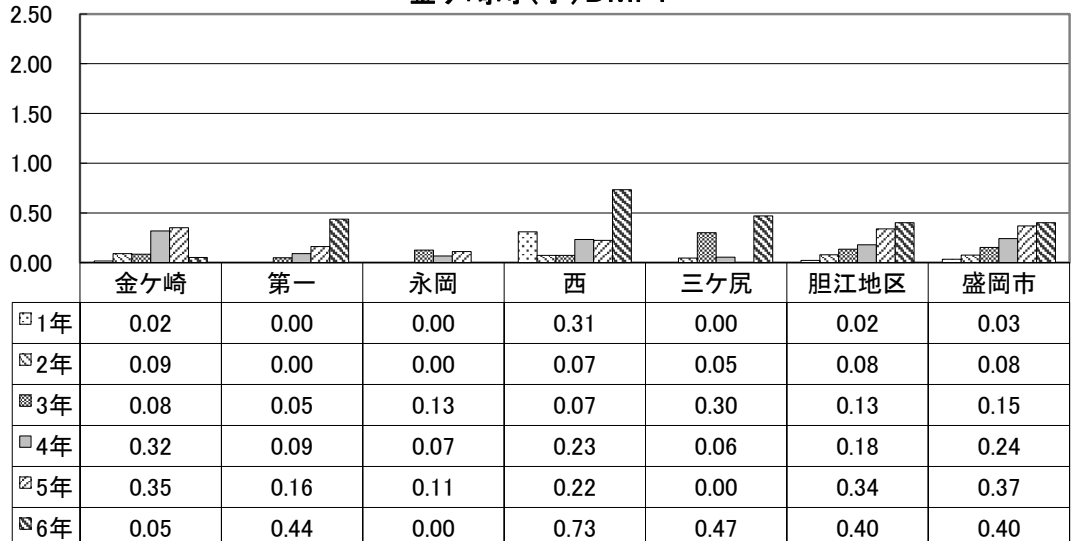
金ヶ崎町(小)未処置歯所有者率



金ヶ崎町(小)う歯有病者率



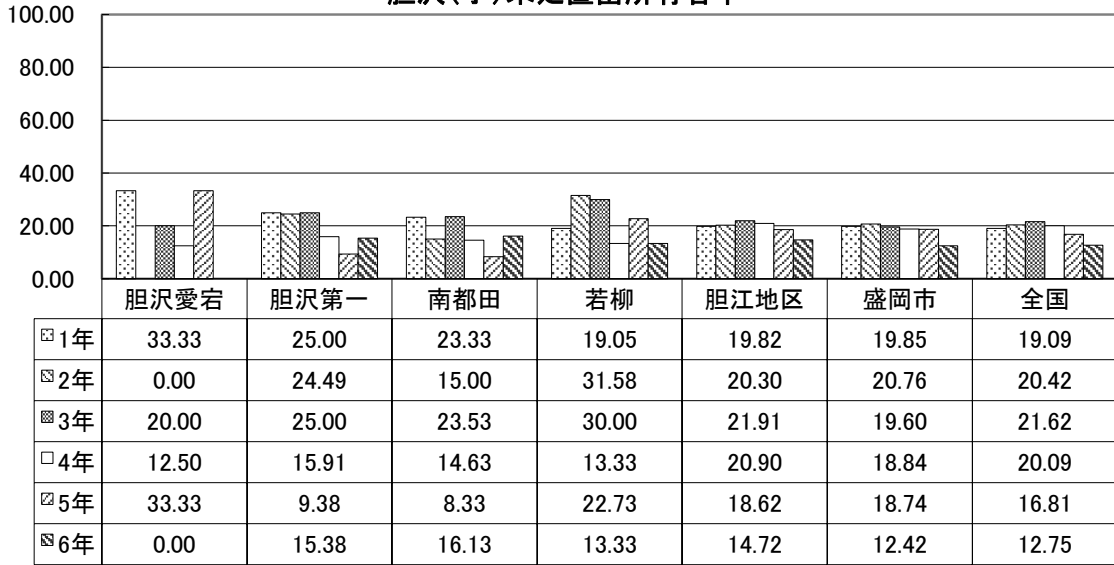
金ヶ崎町(小)DMFT



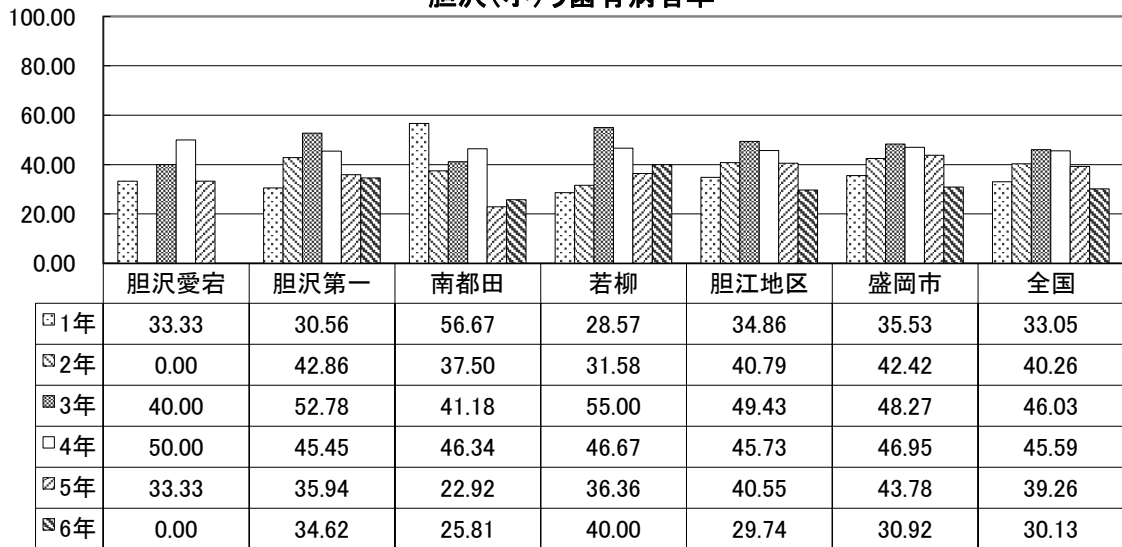


学校別(小)

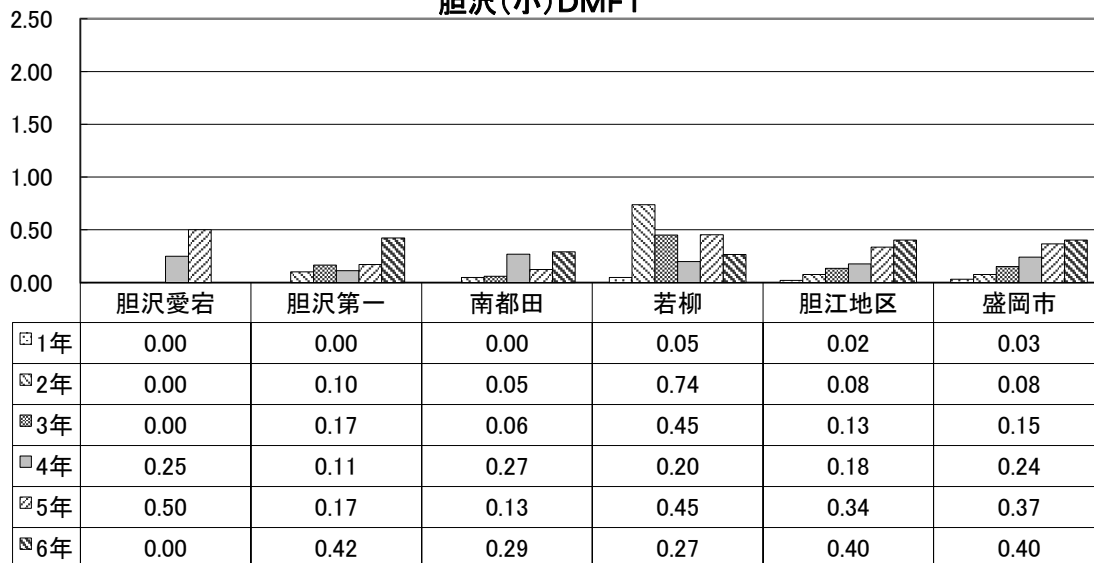
胆沢(小)未処置歯所有者率



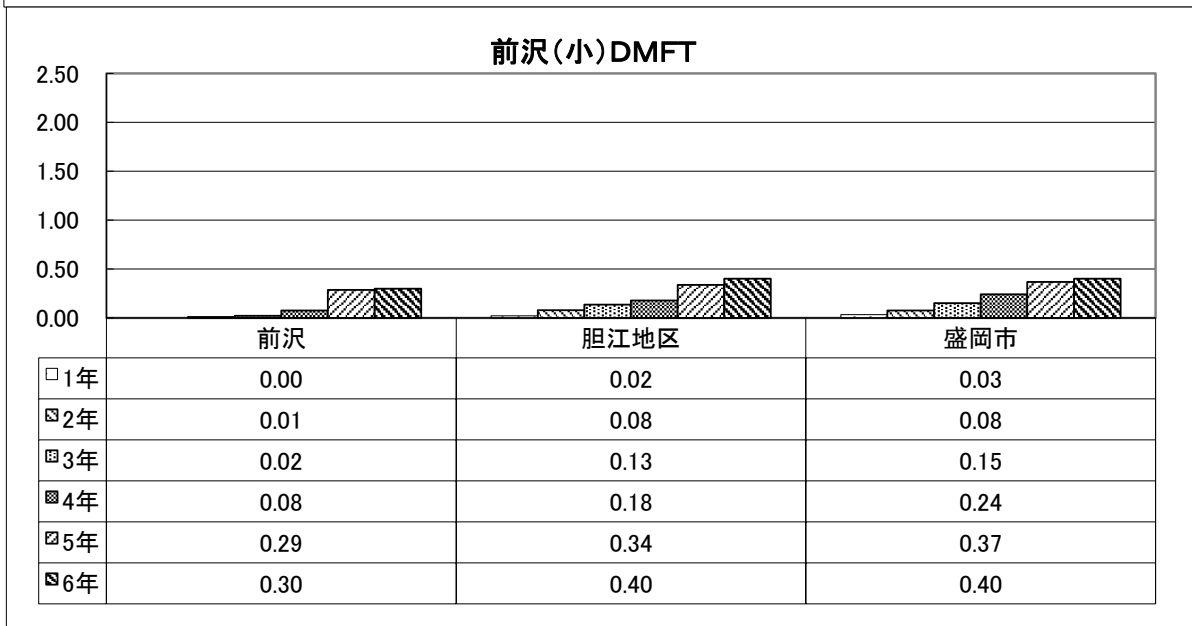
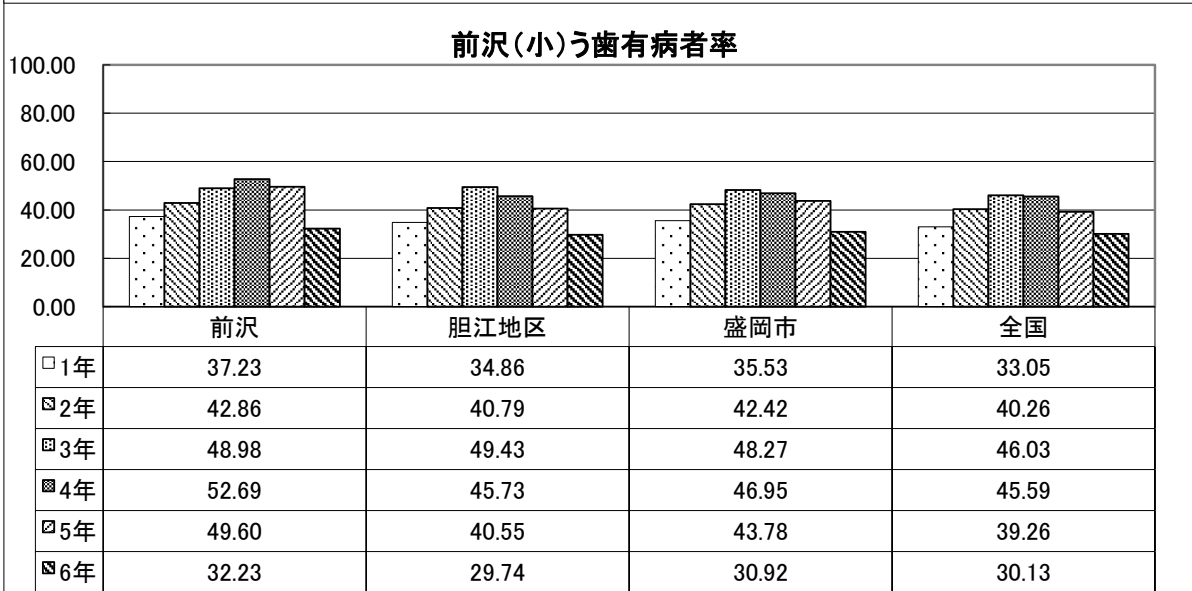
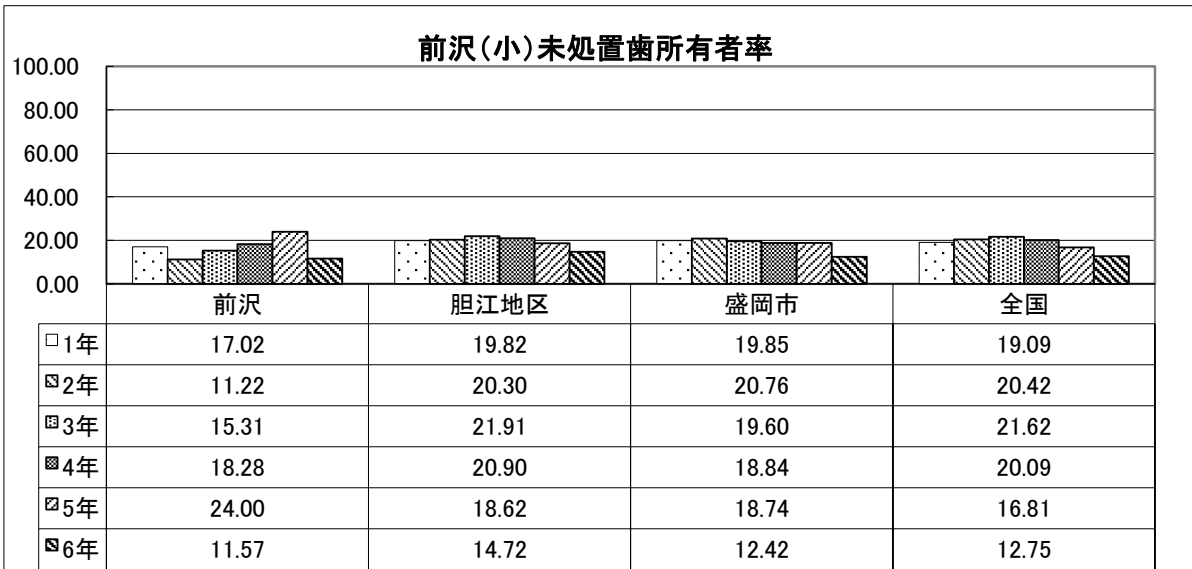
胆沢(小)う歯有病者率



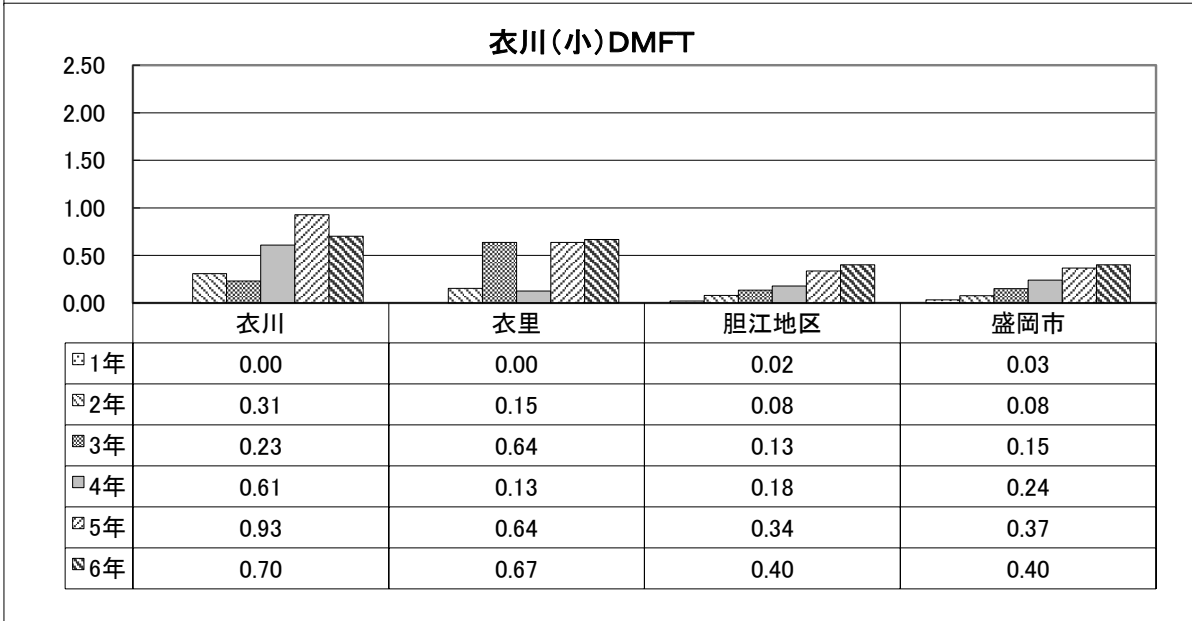
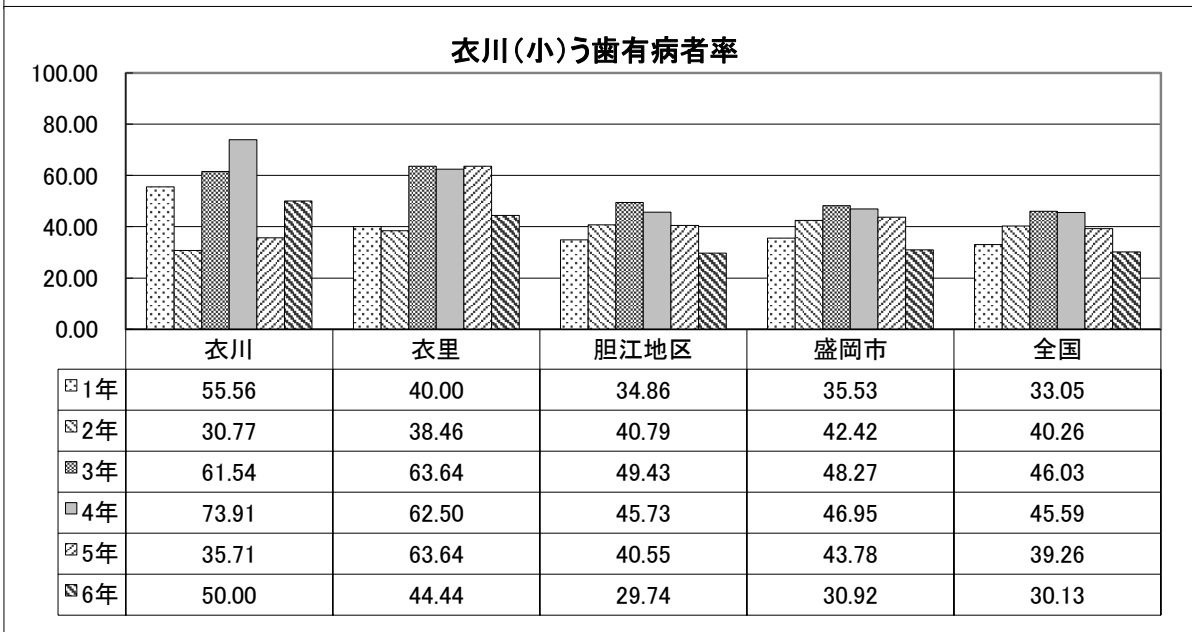
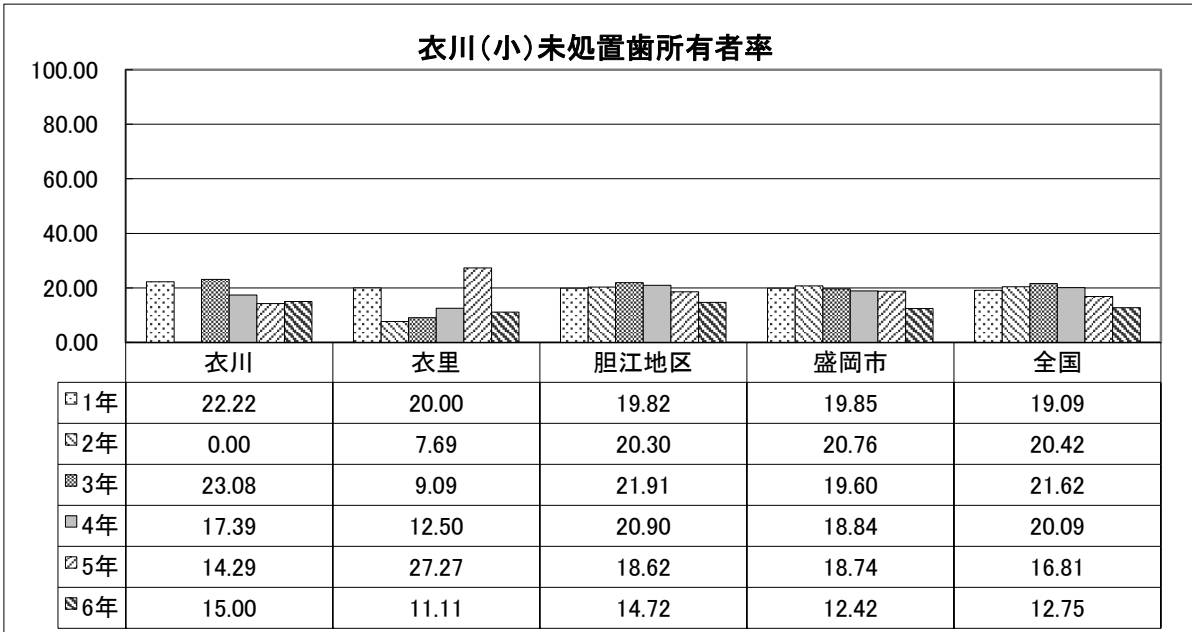
胆沢(小)DMFT



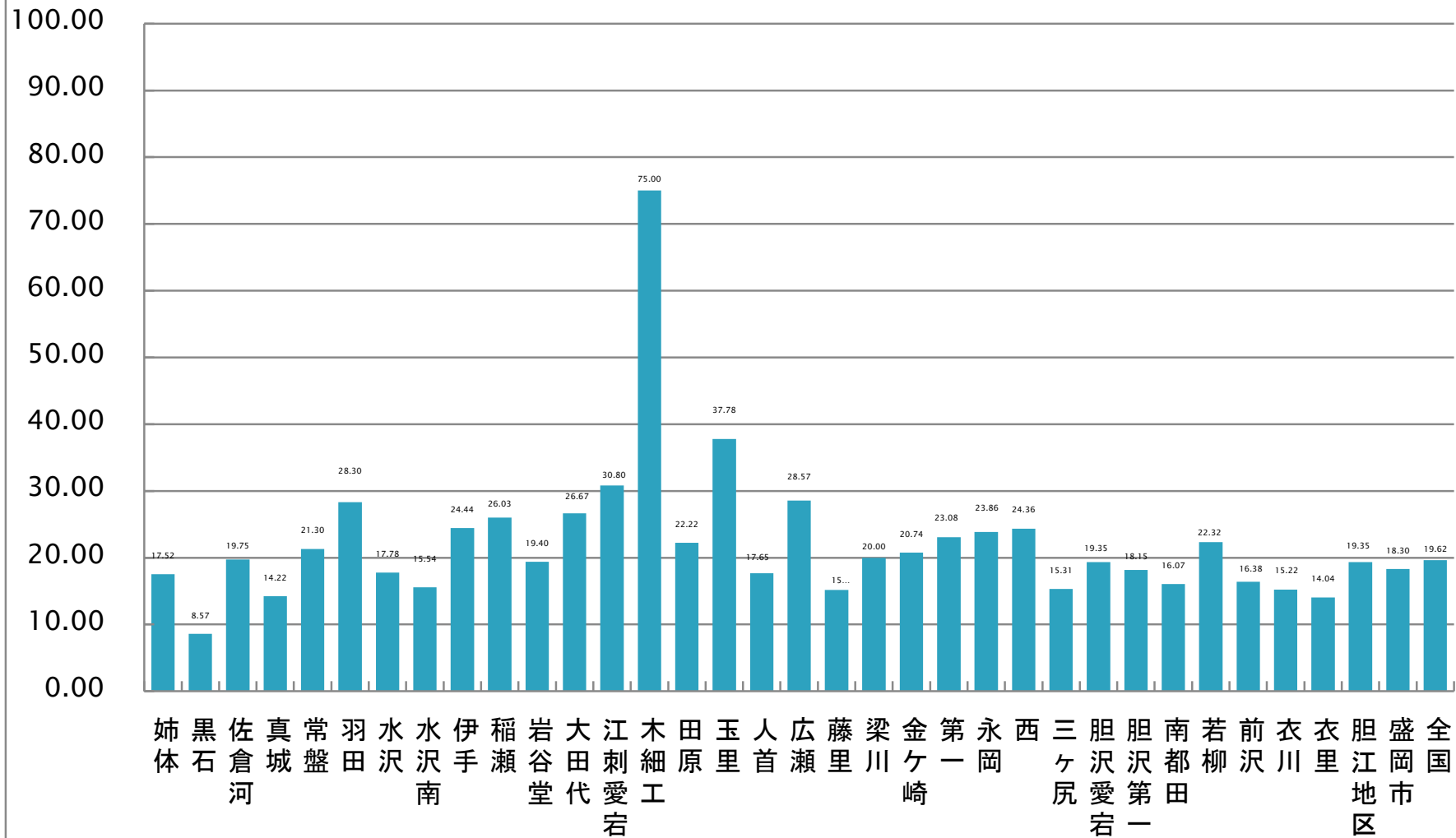
学校別(小)



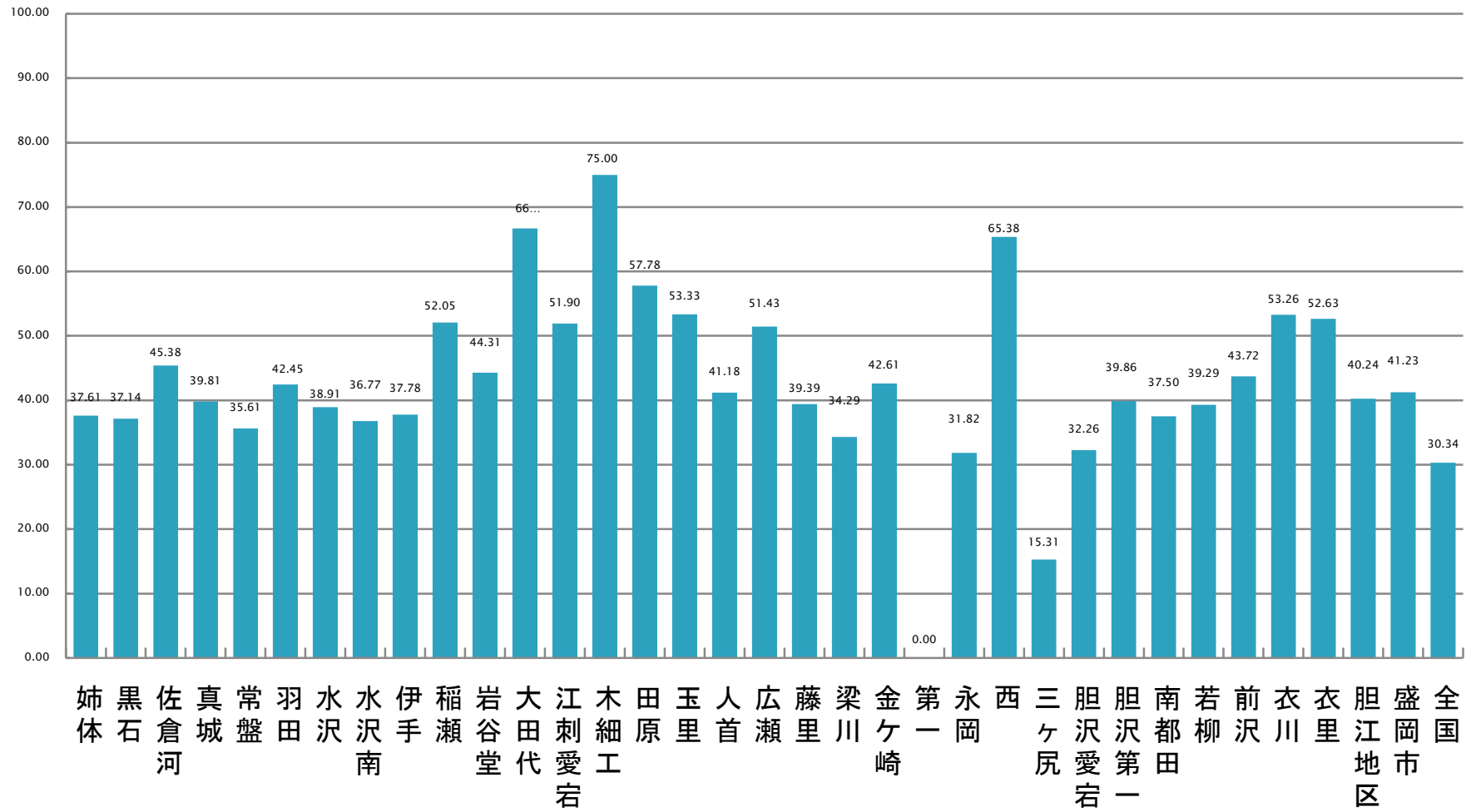
学校別(小)



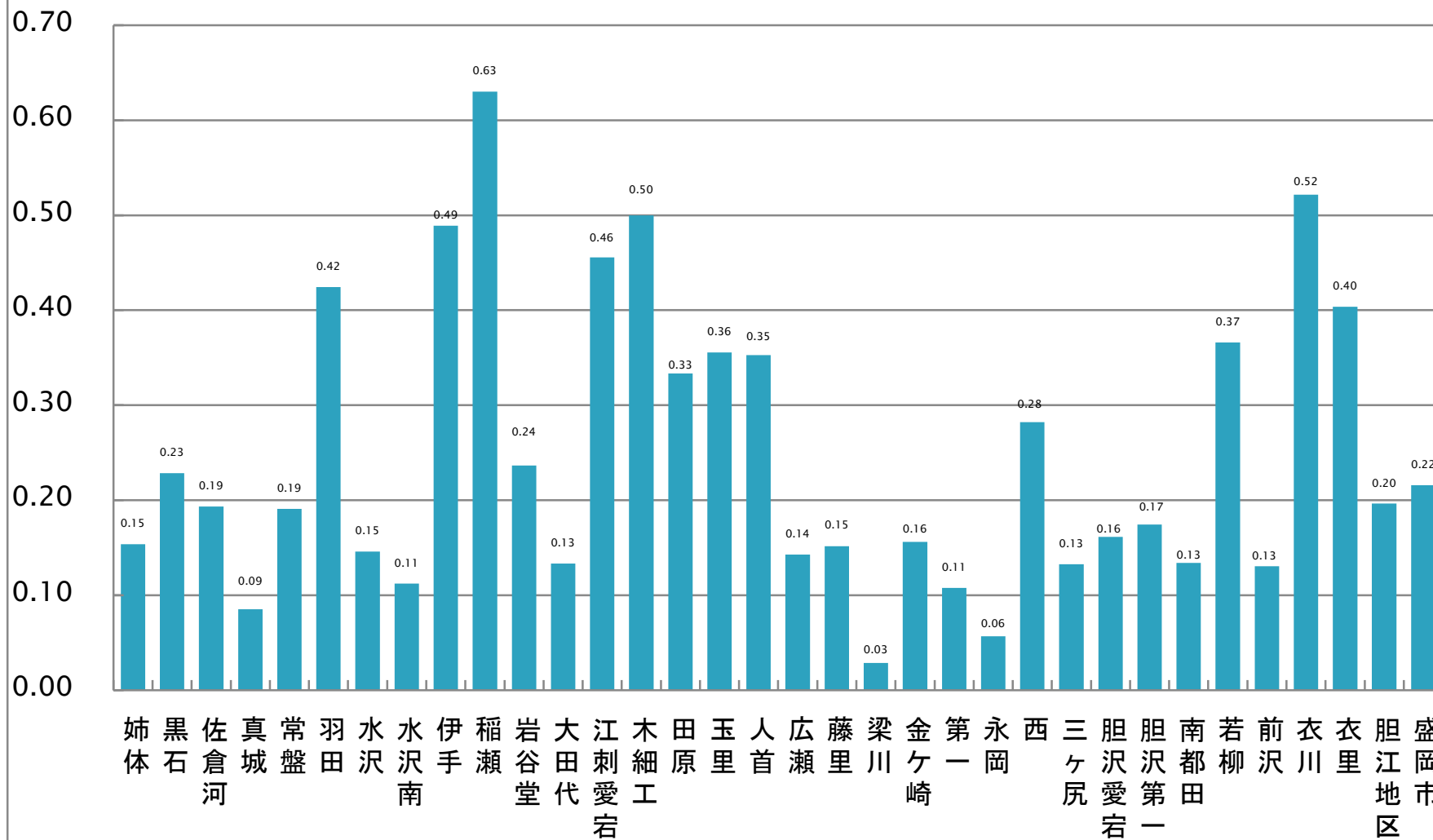
# 学校別(小)未処置歯所有者率



# 学校別(小)有病者率

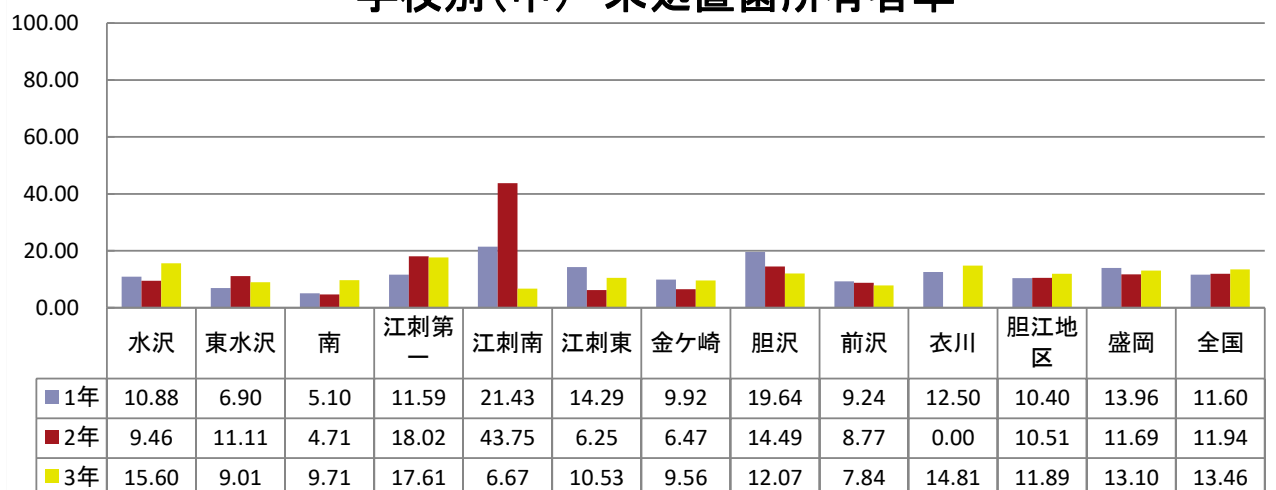


# 学校別(小)DMF

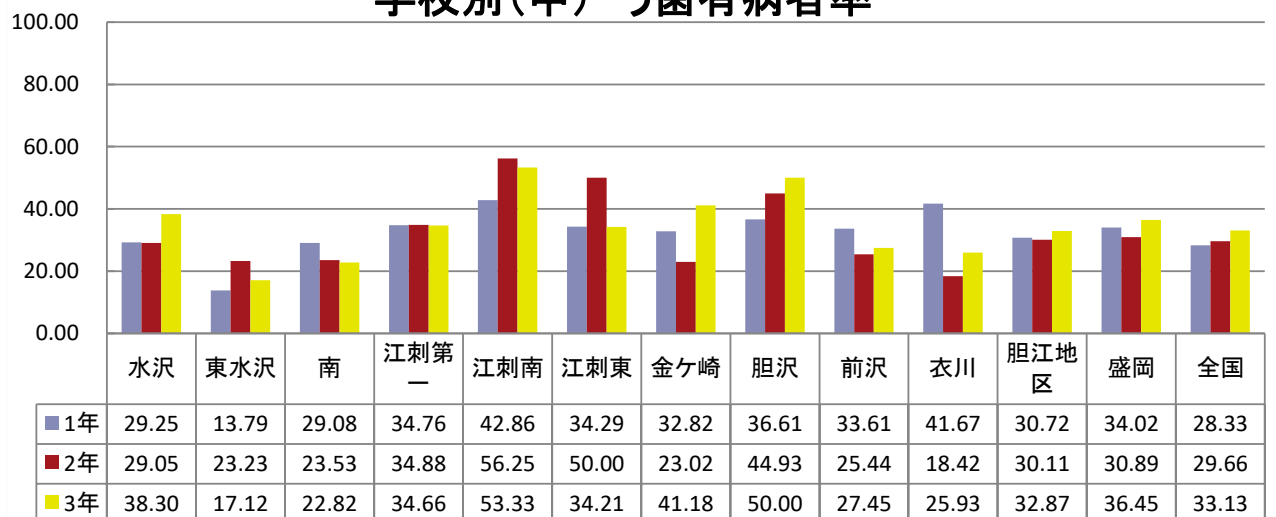


学校別(中)

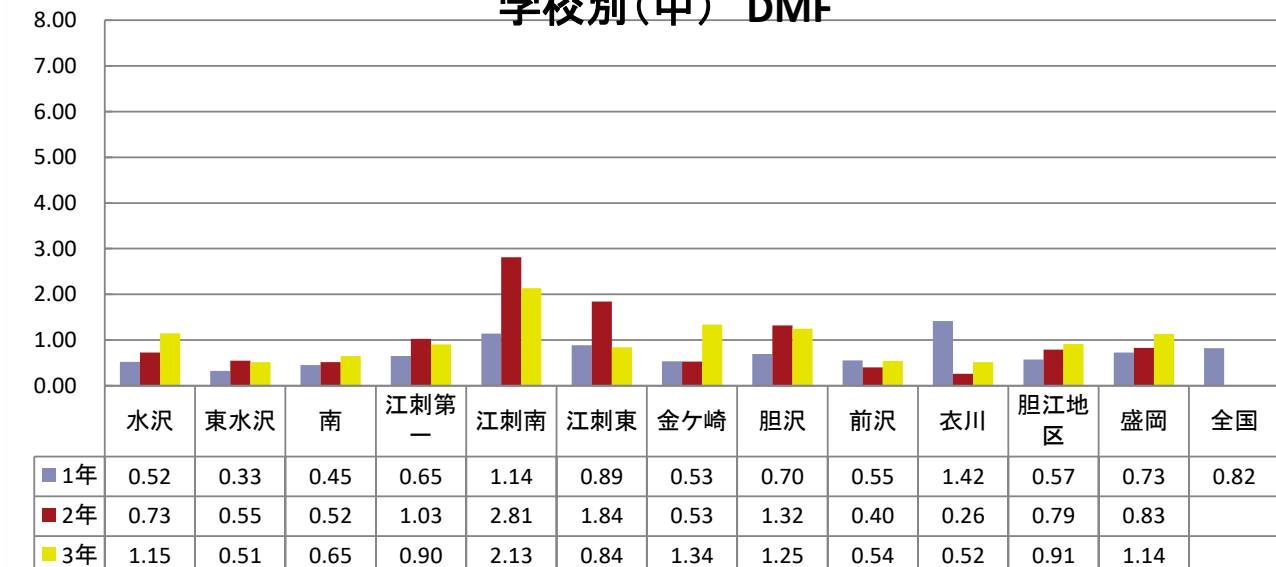
学校別(中) 未処置歯所有者率



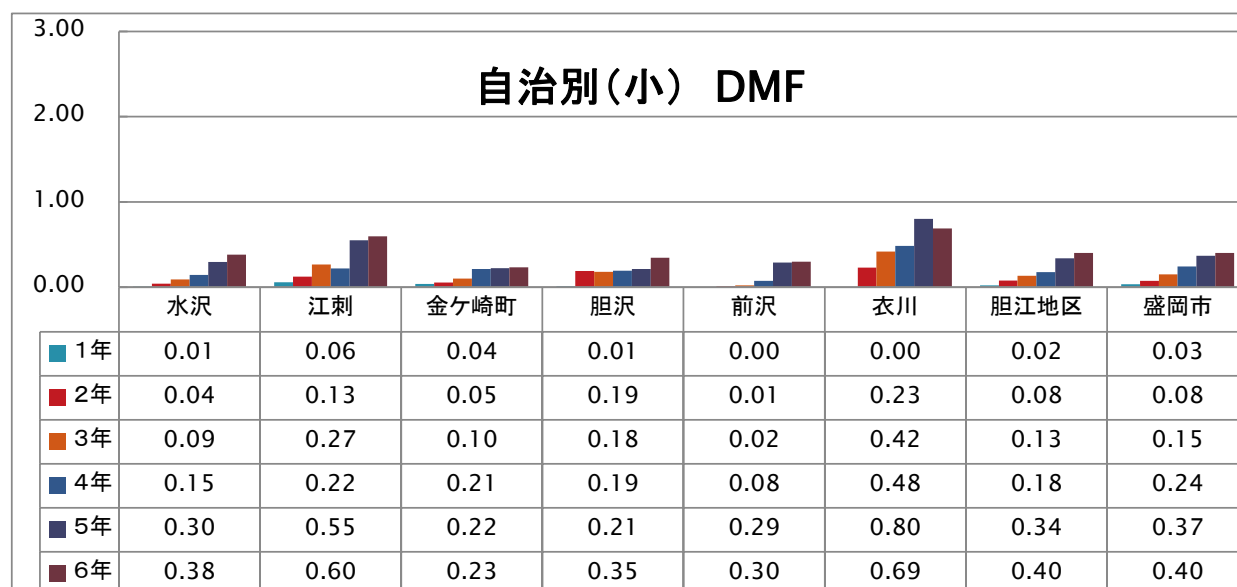
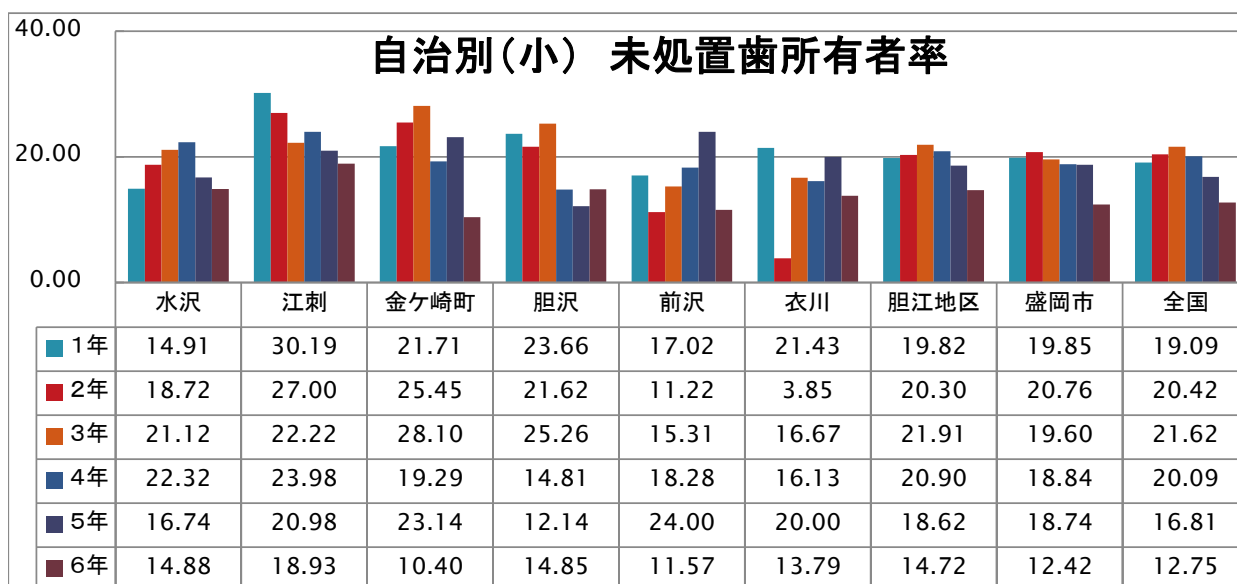
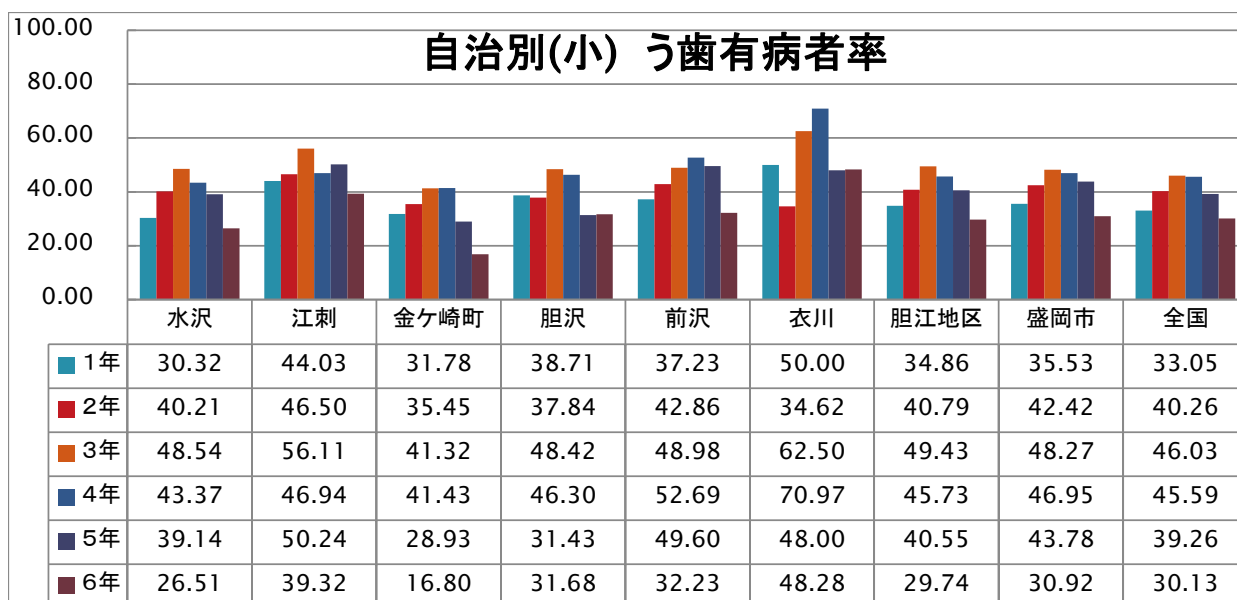
学校別(中) う歯有病者率



学校別(中) DMF

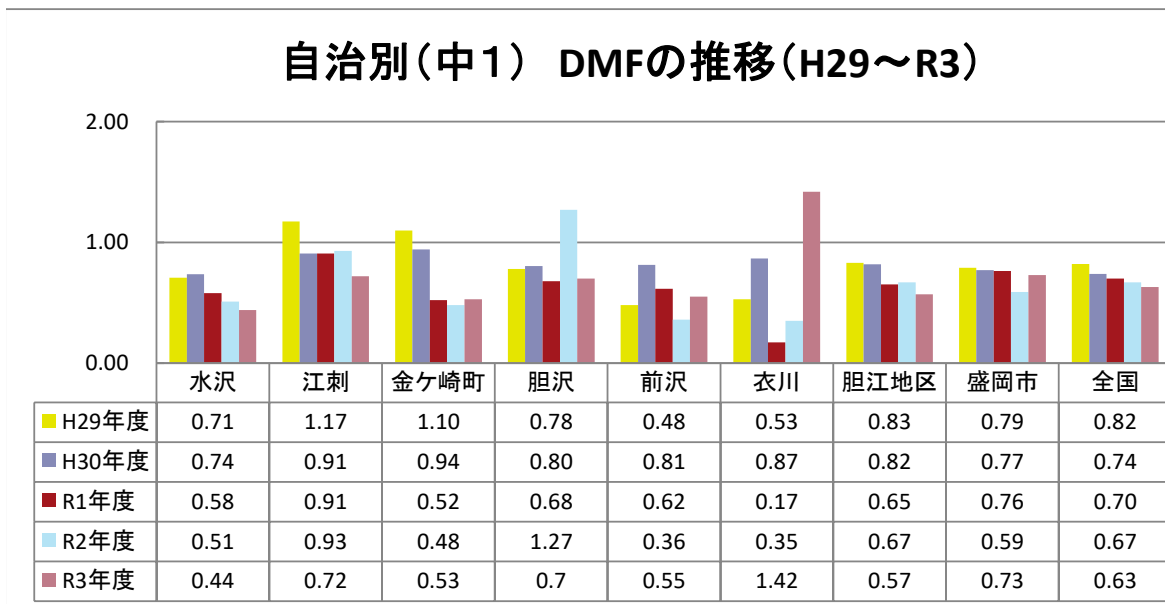
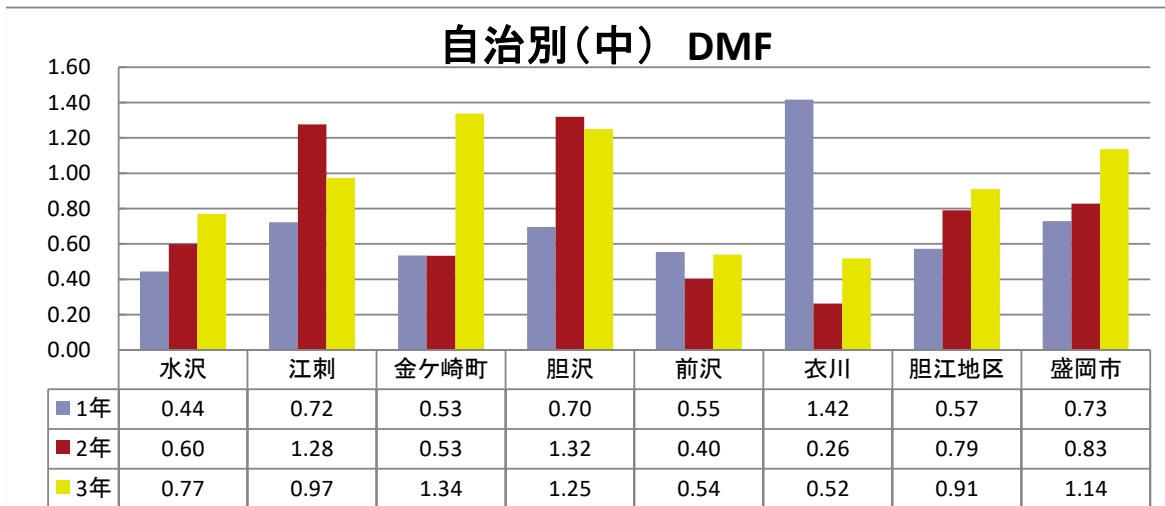
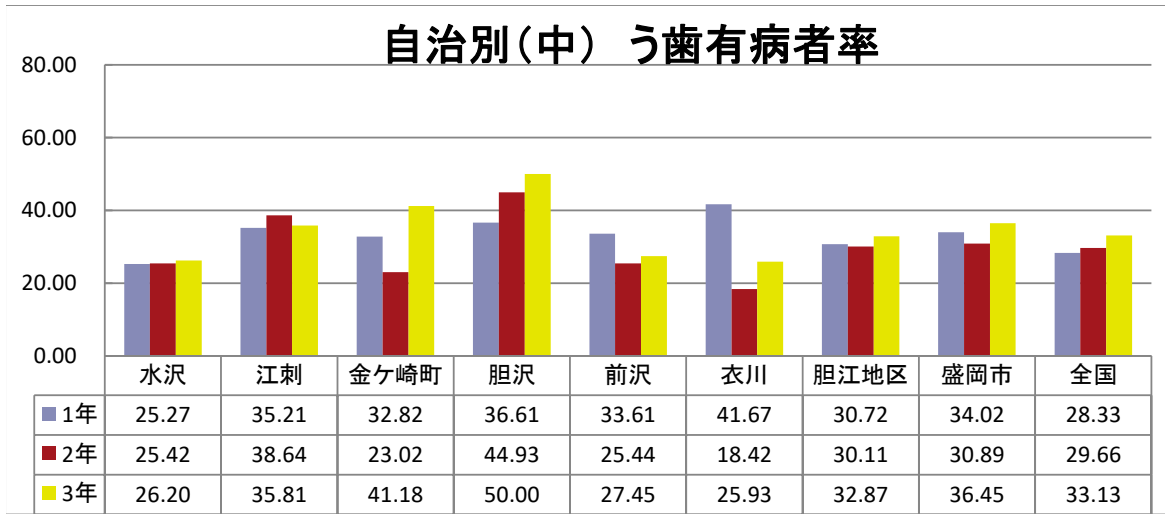


自治区别(小)

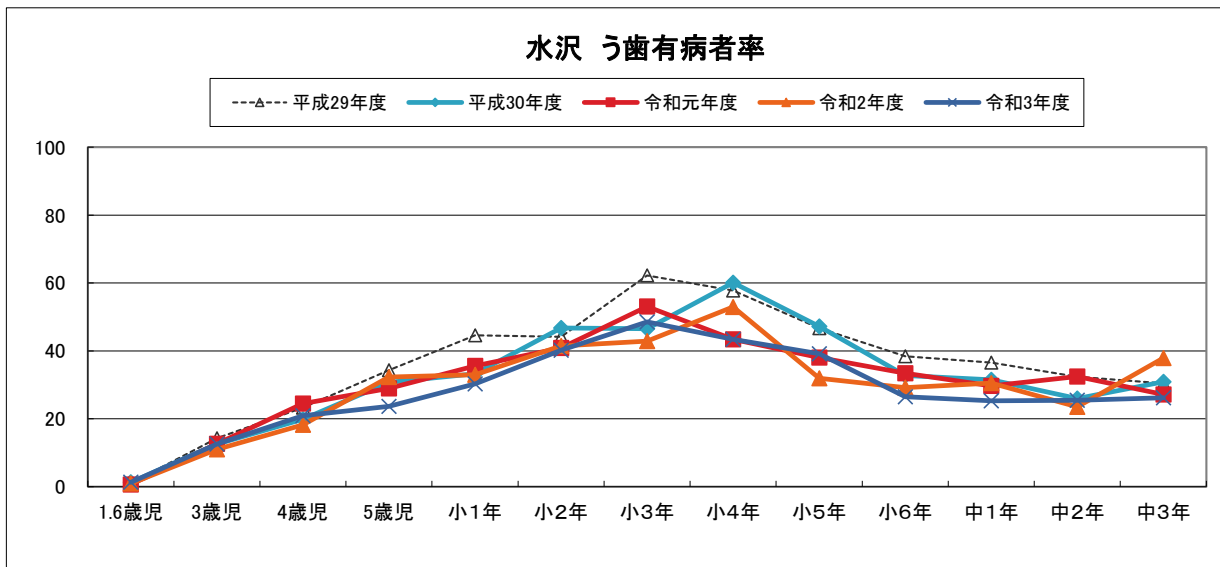




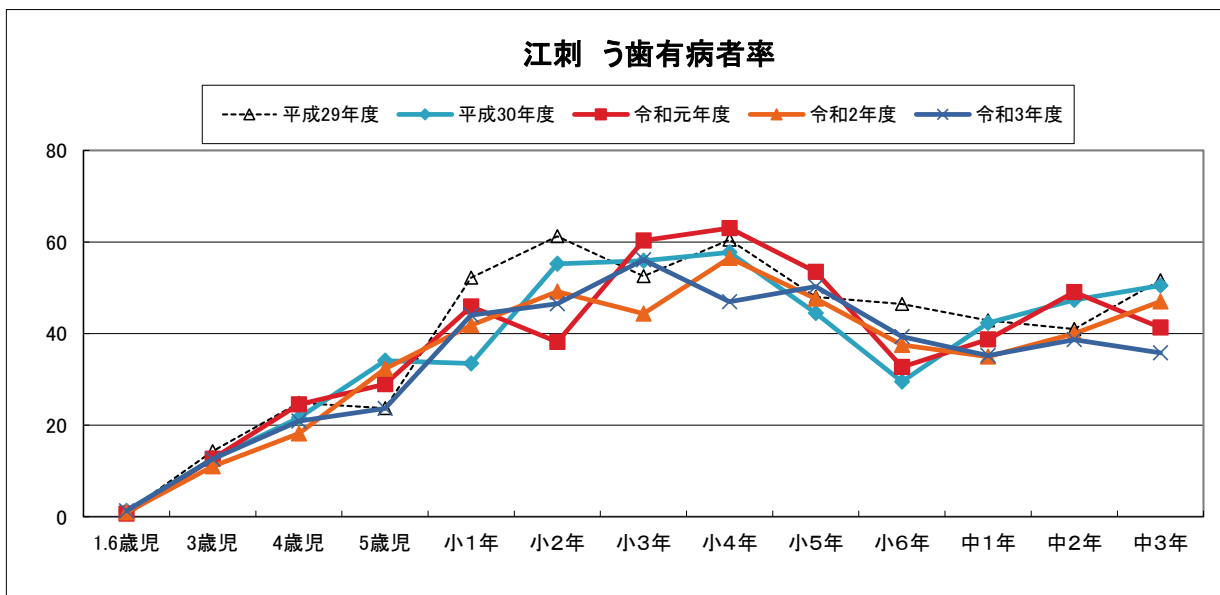
自治区別(中)



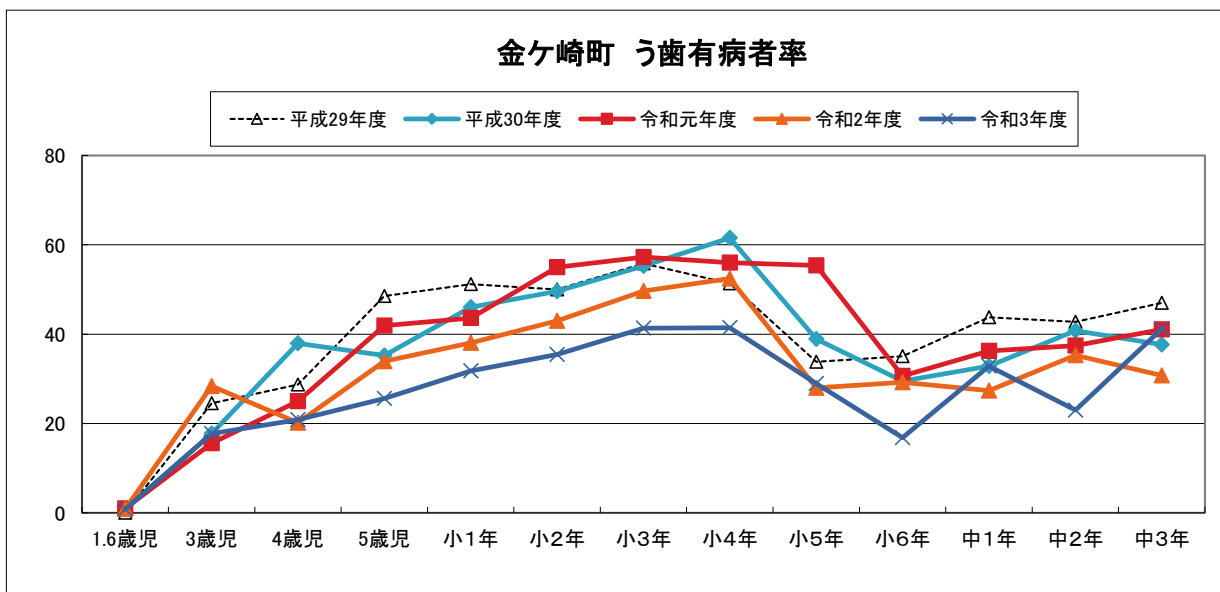
1.6歳児～中学3年までのう歯有病者率



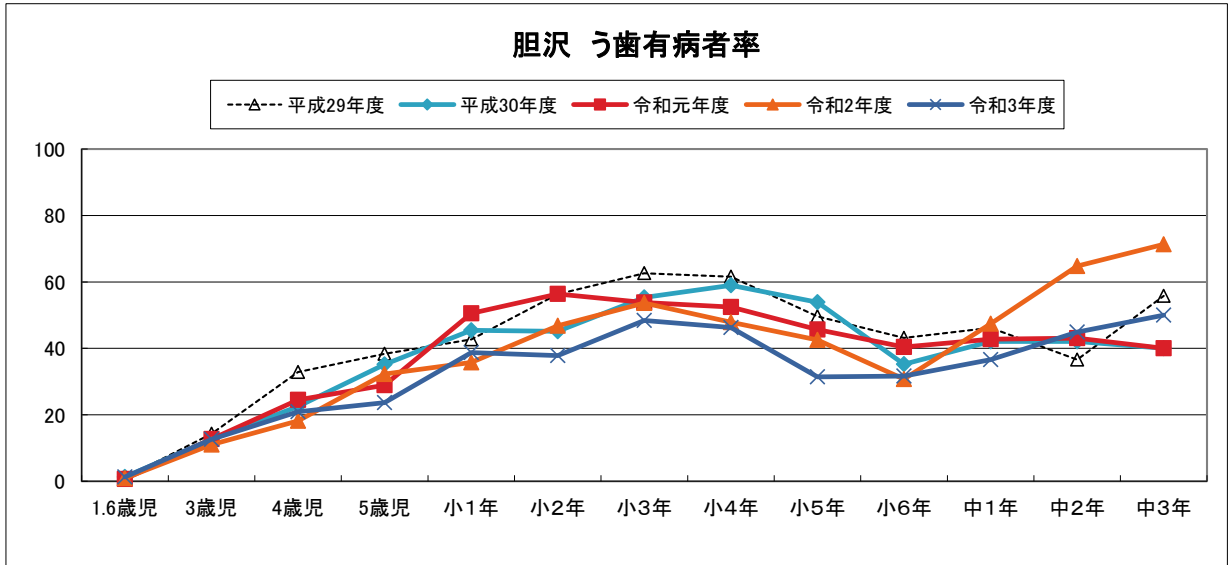
注) 1.6歳、3歳は奥州市のデータ



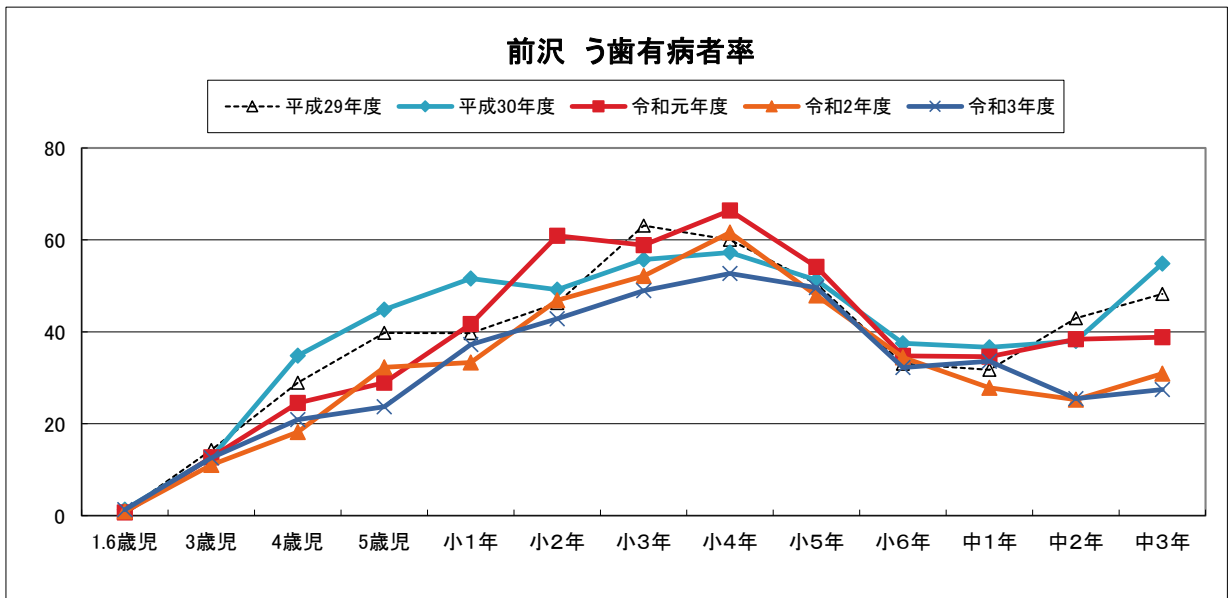
注) 1.6歳、3歳は奥州市のデータ



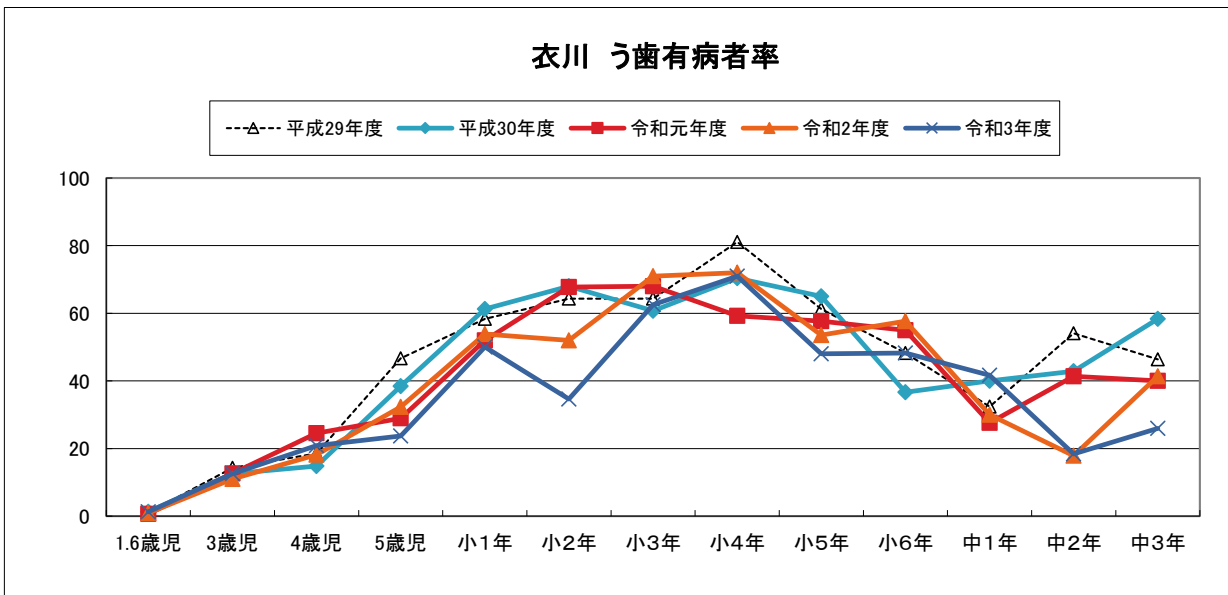
1.6歳児～中学3年までのう歯有病者率



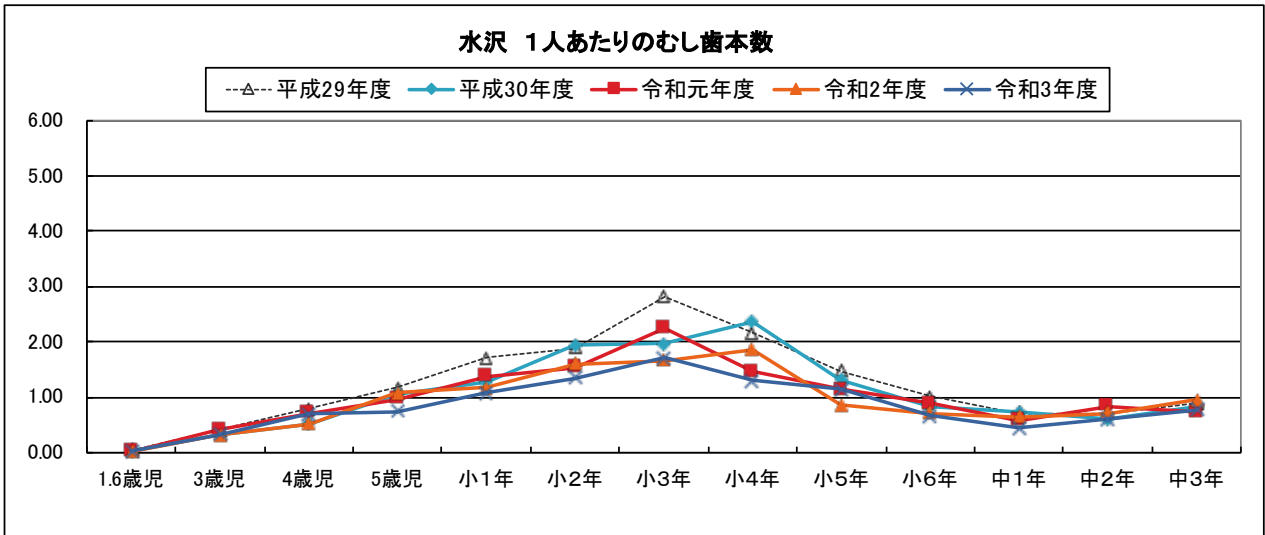
注) 1.6歳、3歳は奥州市のデータ



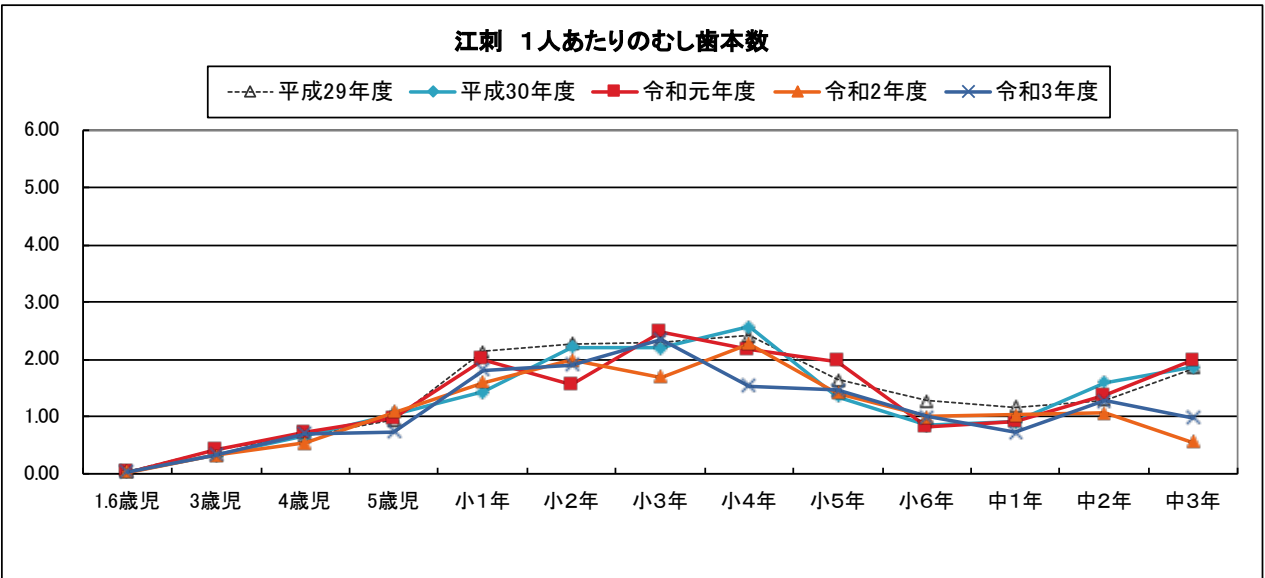
注) 1.6歳、3歳は奥州市のデータ



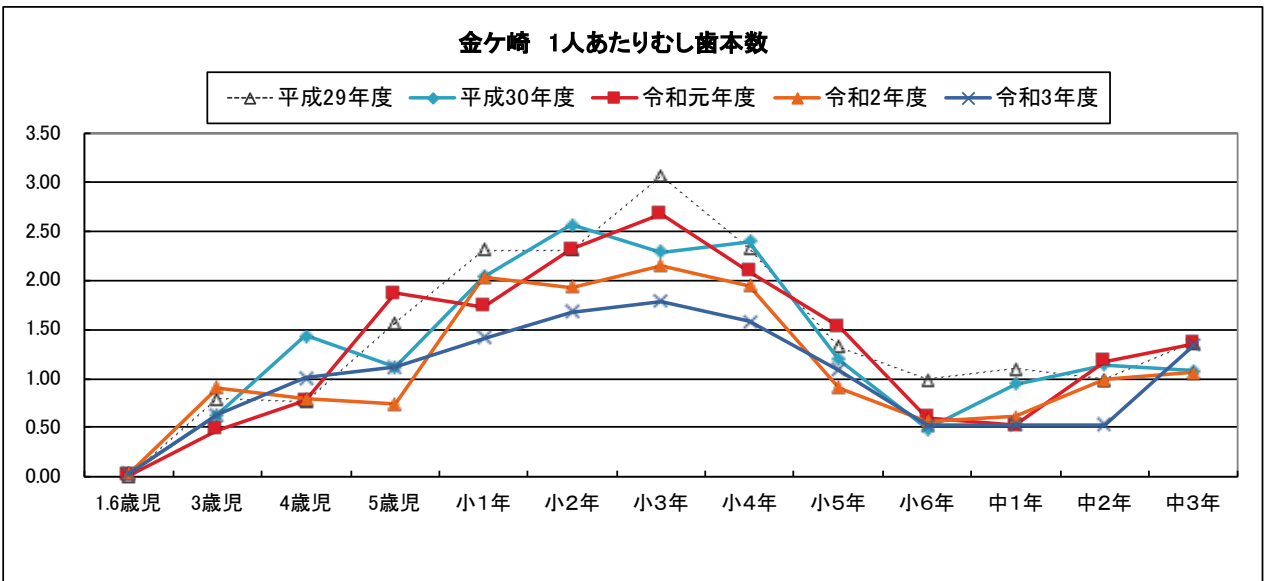
注) 1.6歳、3歳は奥州市のデータ

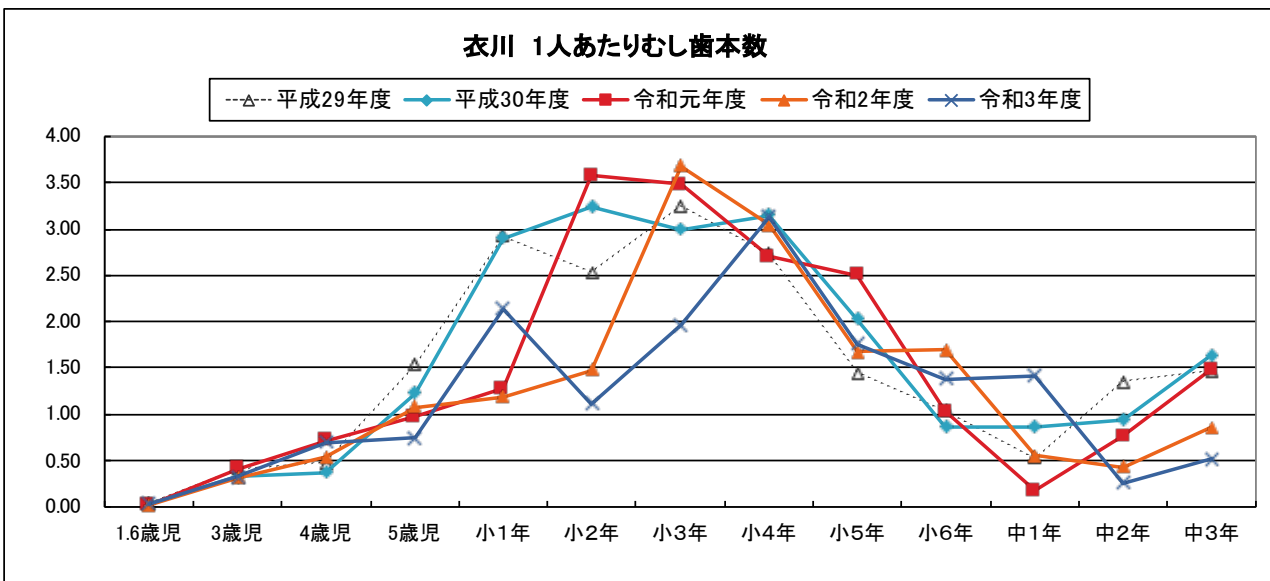
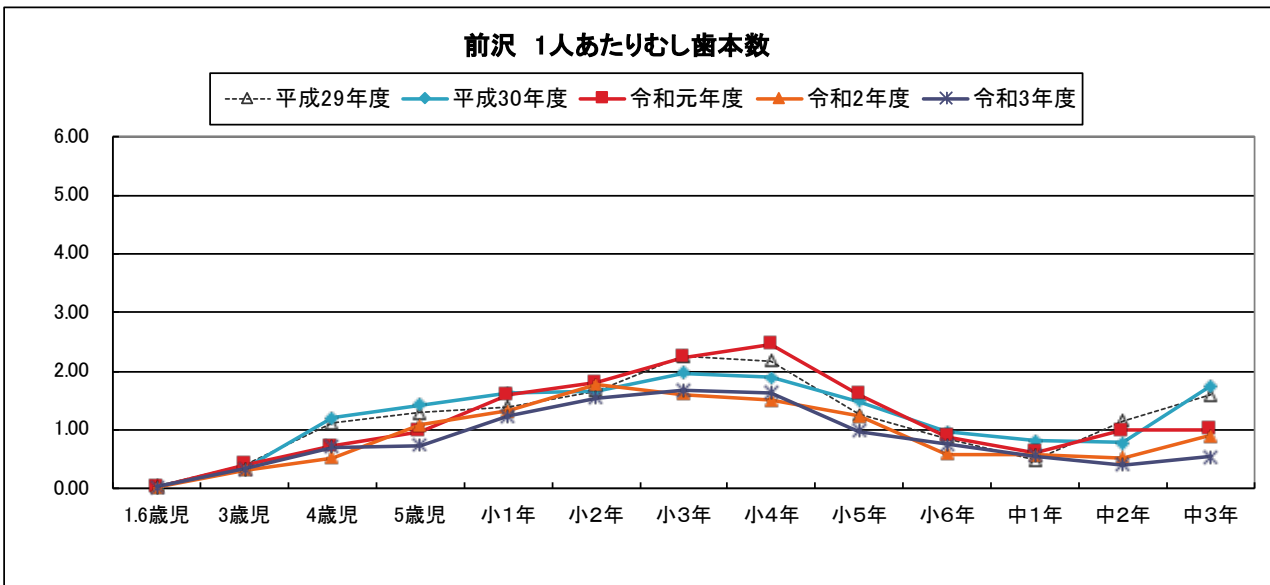
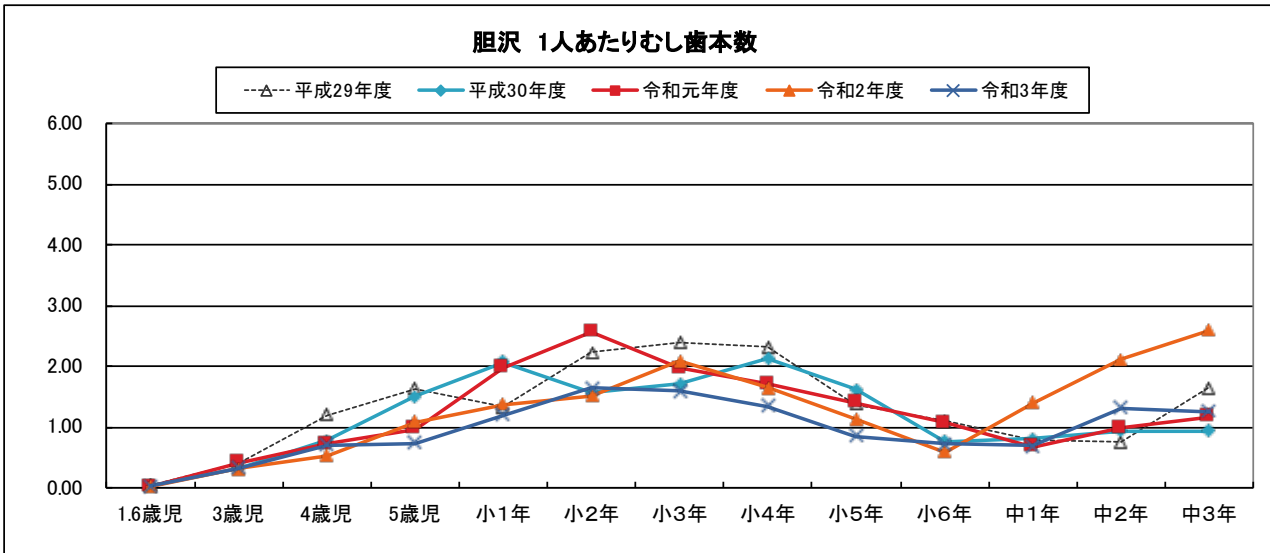


注) 1.6歳、3歳は奥州市のデータ



30 注) 1.6歳、3歳は奥州市のデータ





## 編集後期

令和4年はコロナウイルスのワクチン接種が広く浸透したものの、感染者の減少と拡大を繰り返しまだまだコロナの終息が見えない年でした。未だにコロナウイルスによる様々な制限や不安はありますが、『with コロナ』の新しい生活様式を確立しつつある1年でした。

令和3年度は

・1.6歳児、3歳児のう蝕有病者率は前年度と比較し減少しました。乳幼児の取り組みについては概ね良好であることが窺われました。

・12歳児のう蝕有病者率は当地区では34.20%でした。岩手県35.0%は下回りましたが全国28.33%と比較するとまだ大きな差を認めました。

・イー歯トープ8020プラン目標項目であった、「12歳児の永久歯のむし歯有病者率の減少」は目標の（H34までに28%へ）達成することはできませんでした。

以上のことから12歳児でのう蝕有病者減少に向けた取り組みが必要であると考えられました。

コロナウイルス感染予防で重要とされるうがい手洗いが習慣となり、加えて口腔ケアの重要性についても認知されつつあると感じます。今後も歯科における社会的役割は大きくなっているように感じました。

本年度も教育現場の皆様のご尽力により、滞りなく本検診事業を終了することができました。また歯科保健データ集の作成にあたり収集にご協力いただいた方々に改めて感謝申し上げます。

令和5年1月

## 編集・発行

(一社) 奥州歯科医師会 公衆衛生委員会  
鶴田 撰、大石 裕、及川 桂、綾野 輝也  
佐々木 秀、古玉 芳豊、八重樫浩二、  
大谷 基樹、千田 太山、熊谷 順也  
佐々木 俊、久保田 将史